大正十年十二月十四日　第三種郵便物認可

新京日日新聞

夕刊　三月十五日

本紙定價　一部五錢　一ヶ月一圓　廣告料　一行一圓三十錢
發行所　新京日日新聞社　新京永樂町四ノ一　電話三二二五・三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越內之介

滿洲國公債優遇方 大藏省で考慮中
貯蓄銀行法、國債優遇法案の改正を將來考慮

【東京國通】滿洲國債の優遇方法に就いては十四日開催された高橋藏相、廣田外相共同主催のシンジケート招待會の席上に於て結城興銀總裁から政府の援助を要請する處あり高橋藏相、廣田外相は出來るだけ援助する旨を述べ特にシンジケート側が希望して居るところの

一、法規の改正により貯蓄銀行の公私有價證券中に滿洲國債を加へること

二、國債優遇法案の恩典を滿洲國へも適用し買入債額を以て帳簿價額とすること

三、地方公共團体及組合の投資對象として滿洲國債を指定すること

等に就いては大藏省としても充分研究する事になつて居るが、之等を決定する爲には貯蓄銀行法或は國債優遇法案の改正を要し、立法手續きを必要とする爲今議會には間に合はないが當局としても將來充分考慮する筈である

純根抵當制採用

【東京國通】北鐵買收に伴ふ滿洲國公債總額一億八千萬圓の發行は純根抵當式に基く點に於て我起債界に劃期的時代を出現せしめ關係方面の注目する處となつて居る、即ち第一回分轄發行の滿洲國公債三千萬圓の期限は十ヶ年であるが建設途上に在る滿洲國としては到底同期間に現金償還を爲すことは不可能で當然借替を必要とするが、その際同順位の擔保によつて發行し得る事になつた事は滿洲國にとつて多大の便益を寄與された譯である、右の如く滿洲國債の純根抵當採用が我起債市場に一大衝動を與へつつある際、大信託會社方面でも起債技術の進步發展を期し現在のオーブンエンドモーゲージ制の缺點を鋭意調査中であつたが今回滿洲國公債によつて甚だしく刺戟され愈々四月十日大阪で開催される全國信託協會大會に於て純根抵當制採用に伴ふ銀行擔保附社債信託法の改正法案を來議會に提出すべき事を要望する旨大信託會社の共同提案を爲す筈である

歸任途上の 大橋次長語る

【京城國通】北鐵讓渡交涉滿洲國代表として東京會議に列すべく一昨年六月渡日以來一年九ヶ月、此間首席代表を助けて脇目もふらぬ努力は遂に去る十一日の三國假調印となつて現はれ全世界の耳目を聳たせた外交部次長大橋忠一氏は右協定案に對し滿洲國皇帝の御裁可を得べく歸滿の途十四日釜山上陸、午後七時二十分發「ひかり」で北上した途中出迎への記者を展望車に迎へ同次長は謹嚴な面持で語る

私は去る十一日東京で三國首席代表の署名した

イ、北鐵讓渡に關する滿ソ協定
ロ、價格査定並に契約履行に關する日滿ソ三國議定書
ハ、滿ソ最終議定書
ニ、日滿間に於る交換公文

の四書類を携へて來た之等は新京に歸つてから國務院會議及び參議府會議の審議承認を經、更に皇帝陛下の御裁可を仰いだ上併せて調印委任の勅書を頂いて再び東京に行き始めて調印の運びとなつて居る、我國としては此の最後の重要手續きがまだ濟んで居ないのだから協定成立萬事解決と騷ぎ立てるのは尚早であり、正式調印期の如きも本月中にはやれるとしても二十三日と確定して居る譯でない、正式調印濟みの曉には內容も發表しやうし聲明も出さうが、法的效力の發生して居らぬ今日では內容等に關して語る事は極力謹しまねばならぬ、「一濫りに語らず」と言ふのは我滿洲帝國の外交方針に反し世上の饒舌なるものを見給へ必ず自繩自縛されたり食言しなければならぬ破目に落入るだらう、だから我國は先づ正義に立脚して事を行ひ濫りに語らず、且つ一度口に出した事は必らず實行する主義である之即ち王道外交の所以だ、一時的の人氣取りや正義に反した行は斷じていけない、天は正しきに與すいたのも天意だ、今次の交涉が成功の緒に就いたのも天意だ、我等の如きは天に比べれば之位の存在に過ぎない

と語りつゝマッチの棒をつまみ上げて示す、次長の顔は信念に燃へるやうだ、感服すると共に次長との會見記が京阪の新聞を賑はせなかつた理由が肯ける、だが之で會見記終りでは餘りあつけないから折柄コーヒーの運ばれたのをきつかけに此の金城湯池に更に質問の槍を揮つて突擊する

問　今後の日滿ソ關係の變化殊にその間提起さるべき外交々涉案件如何

答　三國關係が今次の協定成立を楔機として友好的に進展して行くであらう事は確かだがさりとて國境紛爭調停委員開始、武裝地帶設置等が明日にも實現するかの如く傳へられてゐるのは餘り先走り過ぎた觀測だ、だが又滿ソ關係は今更好轉のどうのと言はずとも既に兩國は領事館設置とか、水路協定とかで適當に接觸してゐるじやないか、日ソ間の交涉案件は私の云々すべき筋合でない

問　支那の對ソ抗議、米國の反對意志表示に對する御意見は

答　滿洲國は或一部から兎角謂はれようとも既に嚴然たる獨立國家なのだから獨自の立場に於て事を處すに毫も支障は無い、米國の滿洲國に對する見方もスチムソン國務卿時代とは漸次變化しつつある、それに不承認決議團たる聯盟が今や全く無力な形骸と化し去つてしまつた事は最近の諸問題が悉くこれを裏書してゐる

問　北鐵舊從業員は

答　それは退職手當の事まで協定に載つてゐる、その他の事も細部に亘つて今私が云々する必要は無からう

問　ソ聯が購入する物資は

答　滿洲大豆は相當行くだらう、日本からは漁具等かねて日本から軍需工業用藥品が行くとて問題になつたと言ふ事は知らぬ

問　大田駐ソ大使の歸任期その他如何

答　大田大使とは會はぬから歸任期や又外相の訓令等知らぬ

問　モスクワその他に領事館開設の件は

答　現にハルビンで折衝中でソ聯が既に我國に總領事館を置いて居る以上、本問題は餘り遠からず實現しやう

問　滯日中治外法權撤廢問題に就て日本と折衝されしや

答　氣が散ると不可ぬから北鐵交涉一本槍で行きその他の問題には觸れなかつた

此の邊から次長は聞手に廻つて

新京は大分變つたらうな、何しろ昨年夏一寸歸つてから又半歳になるから、それに大使は替られたし、關東局が出來たりしたし、ハルビン方面は近頃どんなかね

夜も更けて來たので此邊が程合ひと失禮する

米より優秀機を購入 蔣氏大空軍企圖
訓練班を海外に派遣

【上海十四日發國通】蔣介石氏は最近米國から最優秀機と言はれるローンロボ式爆擊機二十臺を購入洛陽徐州兩飛行場に配置したる後歐米各國より優秀機を續々購入し一方飛行士の養成にも非常なる努力を拂ひ極秘裡に大空軍の建設を企圖高等飛行術習得のため杭州飛行學校に對し隨時海外訓練班の派遣を命じた之により第一次海外訓練班十五名は同校政治訓練主班に率ゐられ十四日當地發イタリーに向つたが更に第二次訓練班も近く米國に派遣されることとなつた

歐米依存派の巨頭 孫科氏の豹變振り
孫文十周年の記念放送

【南京十四日發國通】孫科氏が十二日の孫文十周年記念日に當り「謹んで日本朝野の人士に告ぐ」と題して

南京から日本に向け放送した演說の大要は、先づ孫文が生前日本朝野の知巳によつて多大の援助を受けたこと、孫文逝去の後每年日本の知巳によつて眞摯な記念祭が擧行されたる事に對し感謝の意を述べたる後日支兩國は同文同種の國であり、當然共存共榮を圖らねばならぬ、兩國は百年この方歐風米雨の迫害を受けて覺醒し、爾來黃色人種生存のために奮鬪して來たのである、今日東亞の脆弱小諸國は相互扶助の義務があるが、特に日本支那兩國の緊密なる提携が必要だと述べ、次で兩國の文化が其淵源を同じくする事を說き更に兩國提携達成の唯一の道は孫文の大亞細亞主義の精神に根據し好友、信義、和平の道德を基礎とし自由博愛互助の理想によつて相互に誠を披瀝するにあり、かくの如くば自ら兩國の前途には永久に憂ふべき如何なる障害も消滅するであらうと結んでゐる

右は最近まで歐米依存派の巨頭として無遠慮なる排日言動に終始したる孫科氏の所說としてその豹變振りに驚嘆するものであるが孫科氏は曩に東京各新聞に依つて日本特派使節に任命されて以來之を楔機に密に日支兩國要路に向つてその實現を猛烈に運動しつゝあり孫氏としては之を機會に從來輕佻浮薄御都合主義の

人物

として政府內外に蔑視されて來た不名譽を一朝に恢復せんと企圖するものでありその意味に於て今回の堂々たる演說も多分に不純の分子を含むものとして見られてゐる

漁業區再競賣で 日魯五區ソ聯二區落札

【東京國通】漁業區再競賣は十四日正午浦塩極東入電によれば、右競賣の結果日魯漁業鮭鱒漁區五ヶ所、ソ聯邦側同じく二ヶ所を落札したと

その日く

□刑事訴訟費用法、滿洲國でも實施、治法撤廢への準備また一つなる

□接收近き北鐵への派遣員勇躍出發、溫室の花と綽名された滿鐵社員ではあつたが

□新京高女けふ卒業式『滿洲婦人』の殼から拔け出づるか否かは諸孃の胸三寸にあり

□關屋敏子孃結婚の希望なりと外交官を嫌つたところ孃だけにいろんな事が考へられる

□惡德記者捕はる、この際この種惡德輩一掃を望んで止まぬもの

滿洲國に於ける 治外法權撤廢問題（五）

大使館參事官　守屋和郎氏談

四、滿洲國に於ける治外法權撤廢の方法

以上を以て滿洲國に於ける治外法權問題乃至は撤廢問題の全貌は不完全ながら明かになつたことと信ずる、此の

全貌

を凝視すれば滿洲國に於ける治外法權撤廢の問題は議論の時代を過ぎ實行期に入つて居ることが略諒解出來ることと思ふ、又右全貌其者が治外法權を撤廢するとせば如何なる手順に依るべきか又何時から着手すべきかの問題に付ても一の暗示を與へる處がある樣に思はれる、即ち滿洲國の司法制度の目前の狀況を以てしては右制度は今正に急激速度で整備の道程を辿りつつありとは謂へ領事裁判權を含む治外法權制度の全般的撤廢の即時執行を保障する程度に整備さるるに至つたとは謂ひ兼ねる、今直に即時全廢と謂ふ樣なことは無理がある樣に思ふ、然しながら滿洲國の治外法權撤廢問題に付ては司法制度の

現狀

を理由として治外法權の全般的撤廢の即時無條件の實行が尚早なりと結論し之を以て此の重要問題が日滿間にあつさり片付けて了ふことの出來ない理由がある、今日迄多くの人は治外法權撤廢と謂へば即時無條件の全面的撤廢である如く獨斷し又は治外法權撤廢の前提條件たる司法制度が理想的に完備して居ないときには如何なる方法に依る治外法權の撤廢も尚早なりと斷定して來たかの觀がある、斯の如き考へ方は中華民國の樣な外國人に未だ內地を開放して居ない國に於ける治外法權の撤廢問題に付ては或は

正當

と言へよう、だが滿洲國の如く一般治外法權國民に事實上內地開放を卒先實行して居る國に於ける治外法權の問題には其の儘通用し得ない處である、滿洲國に在つては我國民は治外法權の拋棄と交換的にのみ認めらるべき筈の內地居住權を治外法權を拋棄することなしに享有して居る、代價を支拂けずして物品を受領した樣なものである、我國民は早く其の代價を拂はねばならぬ立場に在る、之が滿洲國に於ける治外法權問題に特殊な事情である、一方に於て司法制度の不完全な爲に即時全廢は出來ないに拘はらず內地開放を認められた以上治外法權問題を何とかせねば我國民の滿洲國に於ける地位なり待遇なりの不合理性が

此の

儘續くことになる我國民は痛し痒しの狀態に置かれて居るのである、是に於て必然的に即時無條件且全般的なる撤廢と對立する時條件及內容に於て漸進的なる撤廢の方法が問題と爲る、此の方法が解決の鍵と爲るのである、此の方法のみか滿洲國司法制度の現狀と內地開放と治外法權の撤廢との三者をうまく調和せしめ得るのである、此の方法に依れば始めて治外法權の根幹を成す領事裁判權を其儘として經過的に先づ治外法權の作用中の他の部分例へば課稅及警察の事項丈けを調整すると謂ふ樣な考慮も出來るし司法制度の不完全な

現狀

でも之に顧念する處なく或る種類及程度の治外法權撤廢を實行することも可能である

×

然らば漸進的方法とは何か、今日まで話題に上つて居る漸進的方法に二ある、一は事項別漸進であり二は地域別漸進である、事項別漸進と言ふのは治外法權の作用を全部一時に拋棄又は調整せず其の作用を分割して特定の一作用から始め他の部分を順次に調整して行かうとするものである、例へば治外法權の行政權的方面から始めて司法的方面に進むと謂ふが如き又は民事裁判の事項から始めて刑事裁判の

事項

に進むと謂ふが如きが之である

地域別漸進は治外法權の行はれる地域全部を一時に撤廢の對象とせずに先づ特定の一地域を限りて撤廢を實施し一定の期間を經て他の地域に及ぼうとするのである、都會地に非ざる地方を先にして都會地を後にするとか、之と全然反對に都會地を先にして內地を後廻しにするとか謂ふのは此の範疇に入る、此の兩側の漸進方法は實行に際し併用せられ得る、即ち地域的漸進主義に從て特定の一地域に於て先づ治外法權撤廢を實行する場合に、右地域に於ける撤廢の態樣を事項別漸進に則らしむるが如きは有り得ないことではないのである

×

中華民國の樣な國には斯う謂ふ風のことが實行的見地から歡迎せられて居ると見え中華民國の著書や雜誌や新聞に兩三度之と類似の意見が發表されて居る

五、事項別漸進主義に依る撤廢

漸進的方法の何れが滿洲國に於ける治外法權撤廢問題解決の鍵と爲るか、之は愼重研究の上ならでは結論し難い處であるが眞摯なる研究家の眞面目なる研究を誘致する意味を以て余の私見を無遠慮に茲に披露することを許さるるならば余は現在に於ては差し當り事項別漸進が良いと考へて居る一人なのである以下に理由を述べ度いと思ふ

人事往來

▲增田年尙氏（三井物產）十四日午後來京ヤマトホテル投宿
▲解良要七氏（大阪會社員）同
▲樋谷佐市郎氏（東京商人）同
▲山崎義政氏（東拓ハルビン出張所）同
▲中川諭氏（滿鐵）同十五日午前發大連へ
▲山岡信夫氏（滿電專務）十五日午前來京ヤマトホテル投宿
▲賀來之憲氏（同社員）同
▲大河茂氏（同）同
▲渡邊善一氏（東京會社員）十五日午前發奉天へ
▲中塚榮造氏（大阪合名市田喜商店輸入部員）十四日午後來京名古屋ホテル投宿
▲小津利一氏（大林組大連支店員）同
▲高石正少佐（淸水部隊副官）同
▲田邊秀雄氏（關東州廳警察部長）十四日午後發旅順へ
▲淸水喜重氏（陸軍中將）十四日午後來京名古屋ホテル投宿
▲津田中將（駐滿海軍部司令官）十五日午前發奉天へ
▲久住少佐（新京附屬地憲兵分隊長）同歸京
▲伊藤大佐（若山部隊參謀長）同發ハルビンへ
▲大澤少佐（軍政部顧問）同
▲邊邊獸醫監（關東軍獸醫部長）同旅順へ
▲加藤三等獸醫正（同部員）同

■女八人享激時代■
最後の切札八枚
（合作）
柳　咲子……峯　吟子
大林梅子……若水絹子
瀑　蘭子……夏川靜江
木下双葉……飯田蝶子
[illegible]

＝限りある人生＝
夏川靜江作

76　送別會（四）

志村はもう醉つたやうにふらふらと立上がつて。
「さあ、乾杯しやう」
と、云つた。
「さうよ。緋沙子さん御夫妻の渡歐を祝して、大いに乾杯しませうよ」
と、櫻井夫人が合槌を打つたので、急に、滑稽しく拍手が起つた。すると、一同を見廻してゐた高村が、
「かうして、皆んなに送別會までしてもらつて、何時までも、愚圖々々してちや變だなア……ねえ、緋沙子さん、いつ出發する？」
「さうね、一日も早く！」
「ぢや、明日？ 後明日？」
「さうね。明日にしませうか？」
「さうなさいよ！」
と、志村が、口を出した。
「僕等も、途中まで送つて行きますよ。大阪あたりまで。ねえマダム！」
と、山本夫人の方を見て云ふと、
「さうね。あたし達もいつそ、あつちまで行つちやはうかしら？」
と、笑ひながら云つた。
「いゝなあ、行きたいなあ！」
と、志村は、さも緋沙子達を羨望してゐるやうに、山本夫人を見て云つた。
「でも、まづ緋沙子さん達に、偵察して頂いて、そのご報告によつて、一同で、押しかけたはうがよかなくつて？」
「さうよ」
と、淺原夫人も、分別顔に、
「緋沙子さん、あなた方、先發隊なんですから、一々先の樣子をお知らせして下さらなくちや駄目よ。株に依つたら、皆んなであちらの郊外に土地でも買つて、愛の巣をいとなまうぢやありませんか」
「それ賛成！」
「わるくないわネ」
また、どつと云ふ笑ひ聲と、ともに拍手が起つた。壁に添つた小卓に、黑キャブイアなどの摘みものが置かれて、各々の前には、濃いトルコ・コーヒーのコップが配られてゐた。コニヤックの瓶は手から手と廻されて、見るみる減つて行つた。
「また、ルウレット、はじめませうよ。あたし、少し儲けて、旦那さまにお土產買つて行きたいのよ」
と、櫻井夫人が、また云ひ出した。
「あら、あら！ 皆さんお聞きになつて？……御有ることかいわねえ」
「櫻井さんの、賢夫人振りが初まつたのよ」
「まあ、志村さんが、あんな顔をして？……」
志村が、故意と眼を剝いて見せたので、それでまた爆笑するやうな笑ひが起つた。そして、漸く、その笑ひが納まると、とにかく腹ごしらえをして、再びルウレットをはじめやうといふ提議が、可決された。一同は、その食べ物のことでまたひとしきりがやがやしたが、
「さあ、何がよからう？」
と、カフエー經營者の松谷が一同を見て、
「ウエルシュ・ラビットなんかどうだらう？……」
と、云つた。

北鐵への派遣員けさ元氣に出發
驛頭出征軍人を送るやう
京圖、拉賓經由で

北鐵新從業員一千五、六百名は固い決心と覺悟をもつていよ〳〵今曉午前四時四十分、しばしまどろむ暇もなく友人の見送りをうけ雄々しく出發した乘降場に据えたレコードは「滿鐵の歌」「社員會歌」「螢の光」等々彼等の門出を祝福し幸福を約するかのやうであつた、なほ同五時四十分同六時二十分發臨時列車で京圖線、拉賓線迂廻で任地に向ひ出發した

召集事務所
戰場のやうな忙しさ

北鐵買收正式調印を目睫に控へ滿鐵々道部ではこれが經營委任をうけることは殆ど決定的のもので滿鐵では接收準備にとりかゝりハルビンに接收派遣臨時召集事務所を設置所長には錦州辦事所員事務員田中幸英氏、新京には新京出張所を新京驛々長室及び婦人待合室二室を事務所に充當し出張所長には新京鐵路局員、事務員寺坂亮一氏が任命されハルビン、新京直通電話二通まで架設して十三日午前九時から店開きをなした、臨時召集事務所新京出張所では寺坂所長以下二十餘名の所員は派遣員への通報、旅費、被服その他携帶品の支給に文字通り忙殺してゐる

北鐵接收後の南部線發着時刻
當分の間從來通り運行
萬遺憾なきを期す

滿鐵々道部では北鐵接收に着々準備を進め正式調印終了と同時に列車の運轉を開始することになつてゐるがその際は機關車、客車とも從來の車輛を運轉し、ダイヤも旅客列車は殆ど現在と變らぬダイヤで運轉する模樣、即ち

▲第一下り（急行）列車新京發午前九時二十分、ハルビン着午後三時

▲第二上り（急行）列車ハルビン發午前九時二十分、新京着午後三時

▲第三下り列車新京發午前十時四十分ハルビン着午後七時十五分

▲第四上り列車ハルビン發午前十時二十五分、新京着午後七時二十分

從つて急行でも京賓間は約五時間半で從來とスピードにおいては變りない、なほ旅客列車は一日二往復に過ぎないが各種機具、日用品、その他貨物輸送が急務を要するので一日五、六往復貨物列車を運轉する豫定、西部、東部兩線の旅客列車は毎日一往復運行の豫定

京圖、拉賓線で

派遣員の乘車せる臨時列車は第八班（南部線ゆき）を除く外全部京圖線拉賓線經由で任地へ配置される

派遣員は
列車內が宿

接收派遣員は別項の通り班別に現地へ配置されるが現在任地から新京に至るまでは原所屬箇所の指示に從ひ、新京から任地まではすべて臨時召集事務所の指示によることになり、新京から任地までの宿泊は全部列車內宿泊になる

（寫眞は新京驛出發の北鐵派遣員）

召集を
招集に書換

新京驛構內婦人待合室に墨痕あざやかに揭げられた臨時派遣員召集事務所新京出張所の看板に新京署警務係の目がついて「派遣員召集」とは時節柄市民の不安を惹起するばかりだから若し書きかへの出來ることなら「召集」の文字を「招集」と書替へて欲しいと通知があつたので同事務所では早速（滿鐵招集事務所新京出張所）とかき替へた

ホール、カフヱー荒し
惡德記者捕はる
新京署の眼更に光る

新京署では最近新聞記者と稱してダンスホール、カフエー等に出入し遊客に喧嘩をふきかけ恐喝行爲をなす不德漢あるを

探知

し內偵の結果十三日被疑者一名を逮捕嚴重取調べの結果罪狀の一切が判明した、本籍北海道空知郡岩見澤町二條通西二丁目二番地現住所新京日本橋通り八十五番地新京ビル三十二號自稱大阪時事新報記者東龍兒（宅）は去る二月十四日午後十時頃友人ダイヤ街三橋自動車會社內桑原某と共に新京會館に赴いたところ元福昌公司に傭はれてゐた事があるといふ顏見知りの男が福昌公司の惡口を言つたのを側にゐた福昌公司機械販賣係本籍秋田縣生れ朝川重英が聞き咎めたのが原因となり鬪爭中同所に居合せた東の友人石田（假名）が「何を云ふか」と有無をいはさず朝川の右頰を毆りつけた、すると其所に居合せた愛國社の一團が椅子を

石田

に投げつけ全治一週間の裂傷を負せる大亂鬪を演ずるに至つたが石田らは愛國社の一團とは鬪爭する氣力なく且つ自分達の不利なるを見て其の場をのがれ、同夜十一時頃石田は一名の友人を伴ひ福昌公司支店に赴き支店長に面會し自分は新聞記者なるが今夜朝川のために公衆の前に於て面目を潰され且つ請負工事にいろ〳〵不正あるを探知してゐると支店長を暗に威迫して歸宅翌十五日正午再び福昌支店に至り支店長より責任をもつといふ言質をとつて歸り午後二時頃電話で朝川を新京ビルに呼び寄せ東は新聞記者の威を暗にほのめかし威喝したので朝川は「どこかで一杯やらう」といつたが東は「一杯やると又どういふことが起るかも知れぬ」と現金の供與を望める如き

口吻

を洩らしたので朝川は十六日午後三時頃東一條カフエー赤玉で現金五十圓と治療代七圓八十錢を東に渡し東らはその金を持つて城內料理店上州樓に登樓酒色に浪費したものである、尚新京署では今後かゝる不德漢は嚴重取締る方針の下に內偵を進めてゐる

新京神社
春季例祭執行

新京神社の例祭は十五日嚴かに執行されたがめつきり暖になつた小春日和で參拜人は早朝よりひつきりなしにつめかけ境內には玩具の賣店が出るやら賑はつてゐた

兄弟が揃つて國防献金
安東の加藤氏兄弟

安東滿鐵醫院勤務加藤兼義氏（元陸軍步兵上等兵）並に撫順炭礦機械課勤務加藤正信氏（元海軍機關兵曹）の兄弟は日露役三十周年記念日に當り感慨殊に深きものあり平素兄弟が信條とする勤勞所得は此際生活費以外に私藏、私蓄すべきにあらず餘財は宜しく非常時突破の國防資金として獻納するに如かずとして兄兼義氏は一千圓、弟正信氏は金鵄年金百五十圓、恩給年額二百四十圓を向ふ三ヶ年間計一千百八十圓を非常時國防獻金として鄕軍滿洲聯合支部長板垣少將を經て鄕軍會長鈴木大將宛申達方を申し出た、加藤氏は原籍島根縣那賀郡都の津町

嘗て愛國機滿洲號作製の際五十圓、東北義金にも三十圓を寄附した人で、兄弟四人在鄕軍人として活動してゐる

阿部大將
新京神社參拜

十四日午後五時三十分の列車で來京した阿部大將は十五日副官帶同十五日午前九時半新京神社に正式參拜をなした

城內の火事

十四日午後九時二十分頃新京商埠地巨昌棧街馬糧棧田福順方より發火、見る〳〵中に構內の馬糧に燃へ擴がり急報により馳せつけた附屬地、滿洲國兩消防隊の活動により同十時二十分頃家屋三棟と粟殼一千斤を燒いて鎭火した、原因は家人が粟殼の附近で喫煙し引火したもので損害は百圓位の見込である

營口驛大火
損害三十萬圓

某所への入電によると十四日午後四時營口驛構內に出火大豆十車、高粱一車、綿の實百二十六車を燒失して同夜八時鎭火したと、損害約三十萬圓の見込み

關屋敏子孃の花婿探し

【東京國通】卅二歲の今日迄藝術のため結婚を無視して來た世界的ソプラノ歌手關屋敏子孃は此程心境變化を來し、兩親に結婚の意志を洩らしたので、目下三國一の花婿探し中で、一般に非常な興味を惹き起してゐるが、敏子孃の條件は醫者と外交官は眞平とある

智德婦女會
十七日發會式

新京曙町東本願寺の智德婦女會は設立準備全く整ひ來る十七日午後一時同寺で發會式を擧行する

中京軒開業

東三條通り本社横に理髮業中京軒が開業した

寄附

滿電の山元幸雄氏は公主嶺轉勤に際し西廣場小學校父兄會へ子女在學記念に金十圓を寄附した

仙人掌

仙人掌子はいつも他人のアラばかり拾つてる！と評判がよくない、そこで罪ほろぼしにといふ譯でもなんでもない、たゞ見たまゝ聞いたまゝの御報告！、▲永らくほんとに永らく姿を見せなかつた開花の千龍、今月のはじめからお座敷に出て居ります、一時は病氣危篤を傳へられたくらひですが今ではすつかり回復、▲やがては彼女まじめな顏して例の酋長の娘を踊つてみせるやうになりませう、▼この踊の新京に於けるナンバーワンは何と云つても今文教部に鹿爪らしい顏をしてる光頭氏でせうか、オツト話がそれた取消〳〵これその回春のよろこびにある千龍姐ちやんです

新京高等女學校
けふ第八回卒業式
總裁賞は塚本八重子さんへ
卒業者六十七名

新京高等女學校第八回卒業式は十五日午前九時より同校講堂に於ていとも盛大に擧行された、五ケ年螢雪の功空しからず榮えある卒業生、在校生は午前九時半集合、來賓保護者續々と參集定刻一同敬禮、國歌君が代を合唱、江部校長勅語を奉讀し勅語奉答歌を合唱、江部校長より卒業生總代金井靜子さんに卒業證書を授與、ついで受賞者にそれ〴〵賞品賞狀を授與、江部校長の式辭、滿鐵總裁代理武田所長の告辭、來賓祝辭、學校長代表赤塚新商校長の祝辭、祝電朗讀、在校生總代四年生阿部靜江さんの送辭、卒業生總代金井靜子さんの答辭、保護者總代の挨拶、卒業式の歌を合唱一同敬禮十一時過ぎ閉式した受賞者及卒業生氏名は左の如くである

△總裁賞　塚本八重

△優等賞　塚本八重、谷幽香子、趙緯、藤濤、▲進步賞　金井靜子、松岡翠

△本學年學力優秀賞　塚本八重、金井靜子、谷幽香子、松岡翠、趙緯、藤濤、佐々木セキ、藤岡美智子、小松美代、三坂郁子、尾坂志津子

△在學五ケ年精勤賞　而高信子、石川滿陶日、中江アキヨ、白水恒子、組岡久榮、栗原陽子、△在學年間皆勤賞　岡久榮、小山可壽子、佐々木セキ、末松雅子、根占富子、白水恒子、畠山哲子、本多可壽子、前田マサヲ、槇滿佐

△健康賞　三坂郁子

△學級役員功勞賞　塚本八重、谷幽香子、中尾登代子、磯由子、出島久枝、趙緯、藤濤

△校友會役員功勞賞　谷幽香子、中尾登代子、謝滿蓮、趙緯、塚本八重、藤岡美智子

△卒業生氏名（順序不同）　石川滿陶日、伊藤幸子、宇戸悅子、而高信子、金井靜子、北村美枝子、木原春枝、楠田スミ、久保八重、栗原陽子、小松美代、佐々木セキ、清水文子、謝滿蓮、高橋ミチエ、谷幽香子、堤靜江、鳥飼滿子、中江アキヨ、長尾富美子、中野百代、西出輝代、根占富子、畠山哲子、濱本種子、福島教子、藤濤、藤岡美智子、三浦綾子、三坂郁子、秋山朝香、山崎靜子、和田靜子、石黑孝子、磯由子、尾坂志津子、井山久子、大下春子、小野淑子、神原すい、小澤久子、組岡久榮、小林多喜子、小山可壽子、末松雅子、鈴木好子、趙緯、塚本八重、堤文子、出島久枝、中尾登代子、野島初子、白水恒子、楢本靜枝、濱崎笑美子、日高君子、福田綠、細川靜子、本庄操、本多可壽子、前川秀子、前田マサヲ、槇滿佐、松岡翠、村上福子、本橋一枝、和田モト

（寫眞はけふの卒業式と優等生上から塚本、谷、藤、趙の諸孃）

交驩陸上競技
派遣選手決定
廿六日午後八時新京出發

大滿洲帝國體育聯盟では皇帝訪日記念日滿交驩競技大會出場選手決定のため十四日午後四時から文教部會議室で聯盟理事出席し開會と同時に久米文教部總務司長の聯盟理事長就任挨拶の後協議に移り總監督を初め監督、選手出發日時を左の如く決定した

總監督　飯澤重一

總務　麻生郭暉　外各監督

△陸上（計十二名）

選手監督　奥勝久

主將　于希渭（新）

王化武（吉）、高進襲（大）、任允諾（奉）、唐國仕（奉）、于清溶（大）、郭清榮（奉）、胡靖（奉）、安非諾憂諾夫（北）、都盧賓（北）吉田豐作（新）

▲籃球隊（計十一名）

監督　黑田善八

李穗芳（北）杜超風（北）楊正湧（北）李鳳陽（北）張浦（北）姚致中（北）沈銘書（吉）于化江（吉）信忠傑（奉）劉文林（奉）

▲排球隊（計十二名）

監督　高文煥

美文治（吉）薛貫延（吉）佐昌（新）斯韜佩（北）克韜佩（北）鹿延理（奉天）外一名　吉林二名　馬立諸夫斯（北）孟樹槐（吉）

▲氷球（計十一名）

監督　久保田完三

主將　鹿毛博人（新）

久保田完三（新）佐々木木子一（新）福元清（新）百東力（新）韓孝彰（北）森六郎（新）丹澤幸一（新）谷戸通熙（新）

なほ一行飯澤總監督の引率で二十六日午後八時新京を出發することになつた、大會は四月十三、四兩日明治神宮競技場で行ふ

高女三月行事

新京高女三月中の行事は左の如くである

△十五日午前十時より卒業式

△十六日午前十時より籃球大會午後成績會議

△十八日午前中映畫、映畫は同校一ケ年間の出來事をフイルムに收めたもので四百呎卷十三卷

△十九日大掃除、學級會

△二十日終業式

上海放送局
十五日より日本語講習放送

【上海十四日發國通】日支接近が報ぜられて以來、支那朝野の日本語研究熱は目下旺盛となり、日本語學習の書籍も續々發刊される有様であるが當地の一放送局たる富星放送局では學生、會社員其他の熱誠な要求により日本の大學を卒業せる唐眞如氏を聘し、明十五日から日本語講習放送を行ふ事となつた

天氣と氣溫

明日の天氣　西の風晴

日の出　午前五時五十一分

日の入　午後五時四十五分

月の出　午前一時五十八分

月の入　午前三時二十四分

けふの氣溫　最高　二度八　最低零下三度八

けふの銀相場

金票對國幣　[illegible]

金票對鈔票　[illegible]

鈔票對國幣　[illegible]

現大洋對鈔票　[illegible]

新撰爆笑隊

（毎上晩掲）

辰野九紫作　永田八浦關英太朗畫

時代篇

二七

見附の晴嵐 （五）

その晩、掛川の宿へ着いてから女はしみ／＼お禮みたいなことを述べた。

「ほんに、お蔭さまで無事に川越が出來まして有難う存じます」

「ナニ、聟藏の一つや二つ、大した散財でもねえわさ」

「いゝえ、あたしは、あの人足共の好かんたらしい素振が、いッち嫌ひで御座ります」

「ははア、女一人と侮つて、安部川餅につかれなんしたかの」

「ほほほ、それほどでもありませんでしたが、隨分と難儀なもの……考へたゞけでも足がすくみます」

「成程、それで宇都谷峠では上り下りに、とつおいつ思案なさんしたのか」

「安部川でさへあんなですもの……もつと人足大勢な所は、ソレ越すに越されぬ大井川では御座ンせぬか」

「ははは、流石は役者の御親類だけあつて、うめえ臺詞だ」

「おいらは却て安部川では、人足共にナモテだつたね。なア、姐さん――」

「それをいふと前夜のボロが出るわさ」

「ははは、さては二丁拇で御愉快なさりましたか。ほんに、殿方はお羨ましう存じます」

「遠くなつた旦那様も、その頃は苦勞させなんしたかの」

「それはもう、陰險が陰險ですから、片時も傍が放せませんでしたが、今となつては、それもみんな想ひ出の種……いつそ懷しうござります」

「尤も／＼、夫婦の情愛はさうありてえもんだ。實は、おいらも女房を亡くして、辛い目に遭ひました」

「それは／＼お氣の毒さま……いつのことでござります」

「それがの……而も去年の櫻花どきッてんだから忘れられねえ」

頓兵衛が嫁を貰つた時と反對のことを語れば、鶴吉は默視するに忍びない。

「なんでえ、それぢやお氣の毒さんが可哀想だ」

「うん、押しも押されもせぬ三國一の花嫁だつたが、惜い女を故人に致しやした」

「はははは、まるでアベコベだ」

「何をツベコベいふか。鶴ンちやん――早く湯へ入つて來なせえ……」

「いや、おいらも今が大切な瀬戸際、めつたなことでは眼も耳も放せねえ」

「さうかといつて、おいらがお前と一緒に入るも氣になるの」

「されば、お蔭の賜から申げても、お前の一番風呂が道だらうさ」

「ははは、今日に限つてヤケに謙遜しくさる。どれ、どれ、それぢや、男は度胸と……萬事はこなた任せに失禮するか」

「心配しなさんな。おいらは人情はないが不得手での、ホロリとさせる筋を知らねえ」

「ヘッ、おきやアがれ――」

雲助人交代の後が弥女の獨り――驚いたことには、湯殿までも白布に包んだ逝き夫の骨箱を持參である

「ほほう、それを持つて行きなさるか」

「ヘイ、これがせめてもの夫婦風呂でも御座りませうか」

「いや、どうも、起倒流の先生も當身をくらつた態で御座る」

「おほほほほ、それでは一ト浴び――御免なされませ」

雲助をこぼして、ひらりと身體を翻り出た風情、なか／＼に艶ッぽくあつて甜い働きではあるまいか。

○……

ラヂオ

十六日（土曜）新京

（午前之部）

六、三〇　ラヂオ體操（滿語）
六、五〇　ラヂオ體操（東京）
七、一〇　中等滿語講座（大連）講師 秩父固太郎
七、四〇　日語講座（奉天）講師 近藤喜助
八、三〇　中等日語課本
九、四〇　經濟市況（東京）
一〇、〇〇　經濟市況（大連）
一〇、二〇　料理獻立（奉天）
一〇、四〇　經濟市況（大連）
一〇、五九　經濟市況（東京）
一一、〇一　時報（東京）
一一、四〇　經濟市況（東京及大連）
（午後之部）
〇、〇一　ニュース（東京）
　經濟市況（大連、引續新京）
〇、三〇　ニュース
〇、四〇　ニュース（滿語）
〇、五〇　演藝（レコード）（滿語）
二、〇〇　經濟市況（大連）

ラヂオの御用は　東京無線　電四九二〇番

二、〇〇　經濟市況（滿語）
二、二〇　成人講座（吟爾濱）（滿語）
　王道國家の實業教育　第一工業學校長　王致勳
二、四〇　日用品値段（滿語）
二、五〇　經濟市況（東京）
三、〇〇　ニュース（東京）
三、三〇　經濟市況（大連、引續新京）
三、五〇　ニュース（鮮語）
四、三〇　ニュース（鮮語）
四、四〇　演藝（鮮語）
四、五〇　ニュース（英語）
五、〇〇　子供の時間（大阪）
　幼兒のためのお話
　歌のなる木
　オハナシ、クラブ
　ワカダキタラウ
　うた、はなびら會兒童
五、二〇　コドモの新聞（東京）
　關屋五十二
五、二五　氣象通報、番組豫告
六、〇〇　ニュース（東京）
六、二〇　政府公報（滿語）
六、三〇　國民の時間（滿語）
七、〇〇　管絃樂（東京）（奉天より）
　日本放送交響樂團
　指揮　菅原明朗
一、小組曲
・ドビユツシイ作曲　ビゼー編曲
　（イ）フ メ ン テ
　（ロ）行　列
　（ハ）メヌエツト
　（ニ）舞 踊 曲
二、小組曲　チノティル作曲
　（イ）前 奏 曲
　（ロ）メヌエツト
　（ハ）カンツオネツタ
　（ニ）行 進 曲
七、三〇　連續講談（東京）
　清水次郎長外傳（第三席）　神田ろ山
八、〇〇　時事解說（東京）
　大瀬の半五郎
　海軍問題　海軍大佐　武富邦茂
八、三〇　時報、ニュース（東京）
引續き　ニュース
八、四五　ニュース、經濟市況
　氣象通報、番組豫告
九、〇〇（奉天より）（滿語）
一、京韻大鼓
　（1）三堂會審
　（2）子期聽琴
　唱　楊保桂
　司絃　楊保元
二、奉派大鼓
　（1）遊武者
　（2）百年長恨
　唱　郭小春
　司絃　于澤浦
一〇、〇〇　北滿の時間（露語）（吟爾濱）
一、講演（ルイジン）
　何故に政治局は赤衛軍の白系移民の接觸をおそるゝ哉
二、レコード
三、ニユース

居住消息

▲安藤吉文氏（福岡縣）露月町二丁目四十號ノ二十七熊本方へ
▲桐村幸吉氏（京都府）祝町三丁目十七番地へ

轉居

▲宇山良之助氏領事館構内から老松町七番地へ

▲花田隣熊氏（中央通り四十二番地の二）次女康子さん四日出生

新進青年手合【其二】

先番　染谷一雄（二段）
　　　泉谷實（二段）

いろはにほへとちりぬるをわかよたれそつ

●九　をノ四
○十　たノ三
●十一　よノ二
○十二　ぬノ四
●十三　ぬノ三
○十四　わノ四
●十五　わノ五
○十六　をノ五
●十七　をノ三

六段　久保松勝喜代講評

黑九と掛けたのは黑七からの關聯である。

白十と尖み頂けたのは十一の斷りを含む先手である。

黑十一と下つて白の斷りを防いだのに當然。

白十二と一本利かしたのは此の場合面白い。

黑十三を高つて白から十三と的へられては堪らぬ。

白十四と突き出し、黑十五と約へたのも當然。

白十六と斷る一手、前に白十二の交りが無くて、白十四黑十五白十六と打つたなら、黑は（い）白（ろ）黑（は）と應ずる。

其の時白（に）に截るは黑十七白（ほ）黑（へ）白（と）黑（ち）となるのは、白が次の打方に困るのである然るに譬の如く白十二黑十三と在る場合は、黑十七を（い）に白（ろ）黑（は）と打つ事は出來ぬのである次に白（に）黑十七白（ほ）黑（へ）白（と）黑（ち）の時、白（り）で白が良いからである。故に是れが前に白十二が面白いと云ふた所以である。

黑十七と的へ（ち）の斷りを補ふたのは當然である。

九星

土曜　辛卯　先勝　建　女宿　三月十六日　舊二月十二日

●一白の人　地の利は無けれども人の和はあり進んで吉　壬と癸と丑が吉
●二黑の人　鋭鋒の鈍らぬ樣に氣を締めて直前するが吉　甲と丁と庚が吉
●三碧の人　常業を守るが安全新規事業は愼しまるべし　庚と辛と丑が吉
●四綠の人　上走り強くして實情に乏しく失敗を招く日　庚と辛と丑が吉
●五黃の人　自ら責むる事强ければ衆望集り榮達を見る　甲と巽と丁が吉
●六白の人　和にして愛あれば求めずとも引立に逢ふ日　乙と丁と丑が吉
●七赤の人　果斷を欠くときは何事も捗どらざる日なり　丙と丁と丑が吉
●八白の人　秩序正しければ新氣運に向ひ進んで利あり　甲と丙と庚が吉
●九紫の人　內も外も穩かならぬ日常業に忠實たるべし　丙と庚と戊が吉

滿洲國の交通に就て（十二）

鐵路總局長 滿鐵理事 宇佐美寛爾氏

鐵路自警村は日本の在鄕軍人及總局の滿人路警中から嚴選した者で組織し前述の愛護村内に建設する計畫である、平時には路警を助けて鐵道警備に協力し、一朝有事の際には武器を執つて鐵道を防護し又國防線に立つのであつて、本年先づ十戶を以て單位とする村を十個村、今後二、三年間亦每年十個村內外宛建設し充分硏究した上で確信を得れば數年にして數百個村を建設する計畫である、而して本年最初の村を作るべき者は舊關東在滿除隊兵中から銓考して一應之を歸農せしめ準備を整へしめ今春家族携帶の上渡滿せしむることに既に手配中である、今更云ふ迄もないが移民としての日本人は滿人に對してハンデイキャップがある、從て交通不便、慰安もなく生產品の販路もない僻地に邦人を追込んで滿人と競爭させることには無理がある、且つ鐵道の立場としては自警防護並沿線物資の開發創造と併せ考へて必要もあるので、總局は「移民は鐵道沿線より」との主義を採り、自警村も沿線に作り之には補助と農物其他經營上の指導を與へることにして居る、他日之が日本移民の先驅となり沿線物資の開拓者となるならば幸である、尤も數百個村に全部日本人を當てゝも其數に於ては云ふに足りない、併し幸にして彼等が安定を得れば自ら親族知人を誘導することにもなるし、此試驗にして成功すれば其數を增し其範圍を擴張する途も自ら開ける譯である、また現在の治安狀態に於ていざと云ふ時に武器を執つて起つ十人の日本人が集團してゐる所には必ず滿人が之を賴つて部落をなし、自然物資の開發が行はれることも容易に想像されるのであつて、斯の如く新しき村建設の初から日滿人が相倚り相扶けて生活を營むといふ民族融和の場面を描くことは洵に愉快とする所である

總局はまた附帶事業として土地、產業、教育、衞生等の施設をしてゐるが、此は文化の程度低く資源未開發の滿洲に於ける開拓鐵道としての使命に基くものである、國鐵は滿鐵附屬地とは意味は違ふが矢張り從來鐵道に附屬した土地があつて總局は料金を徵して之が貸付を行つて居る、從來は外國人の土地の取得は禁ぜられてゐたが滿洲國になつて之が撤廢を見たし總局は所管地域に文化的經濟的施設を施しそれに依て人煙稀薄の滿洲に集團的社會が發達し資源の開發が促進されんことを期して居る、從て總局は沿線及背後地の經濟狀況を調査して之を社會の參考に供すると共に直接にも各種の產業助長施設例へば農產畜產改良を目的として優良種子を配付し優良種畜を貸與するとか苗木を頒つて植樹造林を奬勵するとか、更に試驗場、種畜場、苗圃等を經營するとか、種々の努力を吝まないのである、又本年から五ケ所の模範農場を建設する豫定でこれは日本人五戶の共同經營とし各其土地の特色を發揮する樣な經營組織を採らせ、之に依て先住農家を指導しようとして居る、併し此等の土地經營及產業助長施設は總局が現在所管する狹い土地だけでやつてゐても仕方がない繰返し申した如く鐵道が其輸送を創造するといふ立場から見ても滿洲の資源を開發するといふ意味から云つても鐵道は沿線に土地を有して大々的に之を行ふといふ必要が切實に感ぜられるのである

三月一日現在 米穀現在高

昨年度より六百萬石減少

【東京國通】農林省第四次發表、三月一日現在、米穀現在高宮城縣外七地方の分左の如し

內地米	七百九十三萬三千四百五十四石
朝鮮米	百八萬百四十七石
臺灣米	十四萬五千三百六十七石
外國米	三十石
合計	九百十五萬八千九百九十八石

即ち前回までに發表した三十二地方の分との合計は內地、朝鮮、臺灣、外國米合計四千三十五萬百六十八石にして前年同期に比し五百八十七萬六千六百八十一石減少し、殘る十地方を考慮すれば本年在米は前年同期より六百萬石餘減少してゐる事が明かである

廣東通貨安定策

【廣東十四日發國通】廣東省政府委員會は今回外國爲替管理並に廣東通貨安定を目的とする

一、廣東省政府をして省內の取引に外國通貨の使用を禁止せしめる

一、外國爲替の政府獨占制を布く

の二重要案を協議し省政府に廻附した

金融合作社 三十社を增設

經費百萬圓を豫算に計上

大同二年三月奉天省瀋陽に設置以來着々業績を擧げつゝある金融合作社は、七月の新會計年度より愈々第二期の活躍に入り、全國に約卅を增設する事に決定目下之が候補地を選定中であるが、之に要する約百萬圓の經費を明年度豫算に計上主計處に提出の筈である、尙目下詮衡中の合作社理事卅名も近日中に決定、約三ケ月の講習を終へ新年度より元より一萬元を限度とし月末頃には業務を開始する事に意見一致する模樣である

上海商工界不況に

蔣氏中央に救濟策電命

【漢口十四日發國通】重慶にある蔣介石氏は上海市商會をはじめ當地商工各團體聯盟の一日附不況救濟電に對し本十四日汪精衛、孔祥熙兩氏に對し急速に便法を講ぜられたき旨電命した

北鐵樞府審查委員會

滿場一致通過

【東京國通】北鐵讓渡に伴ふ公文交換並に讓定書締結方に關する件の樞密院審査委員會は十四日午後二時から樞府事務所に開會、一木、平沼正副議長を始め富井委員長以下各委員、政府側は岡田首相、廣田外相、林陸相出席し、先づ岡田首相の簡單なる說明があり、次で廣田外相から北鐵讓渡交涉の經過に就て詳細に亘り說明をなし、終つて買收後に於る經費其他の點に關し廣田外相と各顧問との間に問答を重ね、結局樞府側では、この讓渡成立するに至つた事は非常な成功なりとし、稱讚的意見を述べて質問を終り、午後四時十分政府側の退席を求め樞府側のみ居殘つて委員會の態度に就き協議の結果、全員一致を以て之を承認した、よつて來る廿日の定例本會議に上程可決を見る筈である

中銀週報

自康德二年三月二日 至同三月九日

貨幣發行額	一七八、一九三、二〇八四九六
紙幣	一五九、三四七、六九三、二三
準備	六九、六八一、三八九、二七
保證	八九、六六六、三〇三、九六
鑄幣	一八、八四五、五一五、七一

滿洲國國債を內國債なみに

來議會に改正法案提出

【東京國通】北鐵買收に伴ふ滿洲國國債一億八千萬圓の發行に關する滿洲國側とシンジケート側との契約證書の調印は十五日行はれる事となつたが、同國債を內國債なみに償還するの件に就ては法律の改正を要するので結城興銀總裁は十四日午後五時藏相官邸で開かれた官民懇談會席上民間側の要望を披瀝するところあり、遲くも來議會迄に改正法案を提出する事となろう

一月中に於る滿洲國對外貿易

一月中の滿洲國對外貿易總額は輸出三千九百萬餘圓、輸入三千八百萬餘圓、計七千七百五十二萬圓餘で、前年同期に比し六十六萬圓餘の減少を示してゐる、各國別に見るときは對日輸出入額は四千萬圓餘で朝鮮を加へれば全輸出入額の八割で相不變首位を占め獨乙、中國がこれに次いでゐる

（單位國幣圓）

輸出總額	三九、〇一三、四三五
輸入總額	三八、五〇六、八八一
合計	七七、五二〇、三〇六
差引出超	五〇六、五五四

△相手國別

日本	四三、六一五、四六九
朝鮮	六、四八八、九六五
ドイツ	二、三三七、四八六
中國	三、七六〇、九三四
米國	三、五四六、一九〇

（以下略）

△品目別

輸出

大豆	一一、七七七、五三三
豆粕	五、〇三九、五一〇
石炭	四、四二一、八七八
落花生	二、三三三、六七五
豆油	二、一三六、四六二

輸入

小麥粉	五、五二〇、九九一
鐵及鋼	二、九一八、二七七
麻袋	二、四五一、〇四一
機械及工具	二、四〇三、六六八
車輪及船舶	一、九四八、六二七

（以下略）

上海銀錢公會が銀團組織

【上海十四日發國通】銀行公會、錢業公會は十三、四日に亘り大會を開き當地商工業者代表の提案にかゝる五百萬元の信用獎業資金融通問題に關し協議を行ふ事となつたが、銀行錢莊業者方面の意向を綜合するに中央銀行より二百五十萬元、民間銀行、錢莊業者より二百五十萬元を負擔して銀團を組織し、貸出しは一回千

海外經濟

倫敦銀塊	二〇片八分三
同先限	二〇片六分七
紐育銀塊	五八仙八分七
孟買銀塊	七五留比八分三
米英爲替	四弗八六 四分一
米日爲替	二八弗〇二仙
米支爲替	三八弗六二仙
スチール株	三八弗〇〇〇
アナコンダ株	八弗〇〇〇

▲米棉

現物	一二仙五〇
三月限	一二仙三三
五月限	一二仙四〇
七月限	一二仙三九
十月限	一二仙二〇
十二月限	一二仙二一
一月限	一二仙二一

▲上海日本向

第一回	一三七二五〇 一三七七五〇
第二回	一三七五〇〇 一三八〇〇〇
第三回	一三七七五〇 一三八二五〇
第四回	一三八〇〇〇 一三八五〇〇

▲上海倫敦向

第一回	一志七片	一六分七 二分一
第二回	一志七片	八分三 一六分七
第三回	一志七片	一六分九 八分五

▲上海紐育向

第一回	三六弗	二分一 八分五
第二回	三六弗	八分三 二分一
第三回	三六弗	八分五 四分三

▲上海標金

昨引	八七〇〇〇 八六八五〇
高値	八七一〇〇 八六七〇〇
安値	八六九〇〇 八六四〇〇
本寄	八七二五〇 八六六〇〇

▲大連金鈔票

現物

寄付	一三四一〇〇
引	一三五一〇〇
高	一三五一〇〇
安	一三四一五〇
出來高	一七〇萬元

三月二十八日限

寄付	一三四六〇〇
引	五〇五
高	五一五
安	四一〇
出來高	大連鈔票銀大洋 四九二〇萬

▲大連上海向

現物	一〇三九〇〇 一〇三五〇〇
	一〇三七〇〇 一〇三五〇〇
	一〇三六五〇 一〇、四五〇
	一〇三六〇〇
	一〇三五五〇

▲大連𣑥台向

	一〇一八〇〇
	一〇一七〇〇
	一〇一六七五

▲阪神日米

賣値	二七弗 一六分一五
買値	二八弗 八分一

各地場市

▲大阪株式

株新	（一八六五）	一九六六
大紡新	九四三	九四六
大鐘	二二七〇	二二七〇
鐘新	三二八〇	三二二〇

▲同短期

大新	九二〇	九三一〇
鐘新	一三〇三	一三〇一
東新	一四九七	一四九三
日産	一〇一七	一〇一四

▲大連株式

品	三一〇	三一〇
限	三四〇	三二〇
先	三五〇	三八〇

▲奉天株式

東新	一三四〇	一三四五
鐘新	一三〇三〇	一三〇〇〇
日產	一〇一八〇	一〇一四〇
大新	九二〇	九三〇〇
滿鐵	六四六	六四五〇

▲仁川期米

▲大連特產

◎大豆

中限	六六一	六八六
先限		
袋込	四五三	四四六
三月限	四五三	四四四

◎豆粕

四月限	四六二	四五一
五月限	四七一	四五四
六月限	四七五	四六二
七月限	四八一	四六七

◎豆油

現物	一三六〇	一三七〇
三月限	一三五五	一三四五
四月限	一三五五	一三五五
五月限	一三六五	一三五五
六月限		

◎高粱

五月限	一四〇〇	一三八〇
六月限	一四一〇	一三九五

現物	三七二	三七二
三月限	三七〇	三七一
四月限	三七七	三七六
五月限	三八四	三八二
六月限	三八五	三八七
七月限	三九〇	三八九

新京市況

圓特產現物

大豆	三、三〇	五車
小豆	三、七〇	二車

圓特產先物

大豆 三月限	三、七八	一四車
出來高		
四月限	三、九二	一一車
出來高		
五月限	三、九七	三五車
出來高		
六月限	四、〇六	六四車
出來高		
七月限	四、〇五	四六一車
出來高		

圓錢鈔先物

三月廿八日限 國幣對鈔票	八二、五
出來高	十萬圓
四月十三日限 國幣對鈔票	八二、五〇 八二、七〇
出來高	十一萬二千圓
四月十三日限 金票對鈔票	一三四、五〇 一三四、一四
出來高	三萬七千圓

手形交換（十四日）

金票	一八三枚	一八三、七四六、六〇八
鈔票	一五枚	一五、七五三、三七〇
國幣	一六枚	一三、六九六、四一二

金票對國幣	一一四五〇〇
金票對鈔票	一三五四〇〇
鈔票對國幣	八二四五〇
現大洋對鈔票	一〇四五〇〇

大正九年十二月十四日第三種郵便物認可

新京日日新聞

朝刊
夕朝刊共十二頁

本紙定價　一部五錢　一ヶ月一圓
廣告料　普通一行一圓三十錢　特別同二圓五十錢
發行所　新京永樂町四ノ一　新京日日新聞社　電話三二五・三三〇〇
發行人　十河榮忠
編輯人　松本勇
印刷人　水越内之介

凱旋將軍のごとく　大橋外交部次長歸京

昨夜新京驛頭に展開した　華やかな歡迎陣！

大橋代表は北鐵讓渡協定正式調印に必要な國内手續の爲十五日午後九時着列車で途中安東まで出迎へた岡野外交部祕書官並に四平街まで神吉政務司長、川崎宣化司長、下村外交部駐哈特派員に伴はれ着京した、驛頭には謝外交部大臣、丁交通部大臣、阪谷次長、谷大使館參事官外日滿要人がプラットフォームを埋めつくしさながら凱旋將軍を迎へるが如き華やかな歡迎陣が張られた、それより代表は大和ホテルに向ひ、ホテル應接間に於いて謝外交部大臣から勞を犒ふ言葉があり終つてシャンパンを拔いて乾杯謝大臣の發聲を以て大橋氏萬歲を三唱解散した

碧巖錄を取出し

悠々心境を語る大橋次長

（四平街にて金久保特派員發）北鐵讓渡交渉會議の滿洲代表として昭和八年九月以來東京にあつて交渉成立のため盡瘁し、ある時は停頓に阻まれ、ある時は決裂の危機を孕んだ一年數ケ月の多難な交渉の道程を見事乘り切つて遂に滿ソ間に平和的一基礎を築きあげた外交部次長大橋忠一氏は十一日假調印を終へたので買收協定成立經緯を政府に報告の爲十三日東京發一路歸國の途に上つた、大橋代表は歸京後直に諸協定につき政府並に參議府會議の承認を得た後滿洲國皇帝陛下の御裁可を仰ぐため讓渡に關する協定文、交換公文、附屬議定書等を携行歸國の途にあるが、十五日奉天まで出迎へた記者に對し車中左の如く語つた

記者「苦心談を一つどうぞ」といへば

大橋代表「苦心談は未だ早い何れ調印が終つたら交渉の内容は一切お話し出來ない」と前提して

大橋氏「接收後は北滿に日本人が增加すると思ふ、接收は平穩に行はねばならないが不祥事などは全然豫想してゐない」

と語つた後井上秀天氏の碧巖錄新講話をとり出して

大橋氏「北鐵讓渡交渉が成立したことは、大きな運命の流れの一つで、自分はこの流に從つて流れたまでゞある」

と禪問答のやうな話を續ける

大橋氏「北鐵問題は一つの絶對境であつた、解決後は相對境となるから、こん度は有の世界だ、大いに努力しなければならない」

と頭を叩いて微笑してゐる

大橋氏「一年九ケ月の交渉を通じて自分が体驗したことは人間は緊張して勉强してゐればいつでも健康を保つことが出來るといふ事だ」

と暗に買收後において滿洲國全体が緊張しなければならないことを仄す

大橋氏「今の心境は江國春風吹けども風起らずといつたやうなものだ」

と滿洲國の建設發展によつてソ聯邦が北鐵を手放すことを餘儀なくされた事を暗示して何もかも偉大な自然力によつて押し進められてゆくことを語つたのであらう

記「北鐵成立に關する日本の輿論は如何ですか」

大橋氏「滿洲國のために大變喜こんでくれてゐます」

記「現物經濟による商品はどんなものか」

大橋氏「滿洲國では大豆、小麥位なもので日本では澤山あつて決定してゐない」

記者が日本の對滿政策に話題を轉ずれば

大橋氏「最近對滿投資が十億にも上つてゐるから警戒しなければならない等といはれてゐるが日本が打算的に考へるのは感心出來ない、金は一つの手段だソ滿洲國建國といふ理想の建設に向つて思ひ切つて使用さるべきだ」

と決意を示し最後に

大橋氏「自分が北鐵讓渡後交渉委員に選ばれて成立に當つたことは愉快であり感謝に堪えないことであつた」

と一年九ケ月の難產だつた交渉經過を胸に浮べて動搖する列車のソファーに身体を埋めた（寫眞は驛頭の大橋次長）

勢力の均等を確立　質的制限を期す

モンセル英海相軍縮對策宣明

【ロンドン十四日發國通】モンセル海相は十四日午後下院に一九三五年度海軍豫算案を提出した、右豫算案提出に當り海相は左の如く海軍縮少本會議に臨む英國政府の態度を宣明し、來るべき本會議に於て英國政府は海軍國間の勢力均衡を確立し、質的制限の實現を期する方針なることを言明した

日英米海軍豫備會談は海軍縮少本會議への地均し工作を目的としたのであつたがよくその趣旨を達成し、極めて有效的な接觸が確立された

日本政府の華府條約廢棄につき事態を餘りに悲劇的に見る必要はない、海軍縮少會議の理想は各海軍國間に國防勢力上の均衡を確保するにあり、英國政府としては國防の必要上軍艦の隻數を必要以下に減少することは出來ないが量的制限質的制限を重視し艦型縮小に關する國際協定には是非參加したいと思ふ、英國政府は八吋砲巡洋艦並に潜航艦を全廢すると共に主力艦の軍艦噸數を二萬五千噸に備砲口徑十二吋に制限したい

更に將來の巡洋艦は總て最大限排水量七千噸、備砲口徑六吋に限定出來るのではないかと思ふ

英國政府は巡洋艦　潜水艦に就いては一九三六年十二月末までにロンドン條約で許容された最高限まで代艦建造を遂行する方針である驅逐艦については特に條約上許容された代艦噸數を全部使用しない意圖である

接收は二十三日

賃銀もちかく發表

【ハルビン國通】北鐵接收は來る二十三日午前十時より行はれるが接收一ケ月後より北鐵のダイヤを根本的に改正して隣接各鐵道との緊密な連絡を取り全幅的機能を發揮することになるが同時に貨客列車の增發を行ふ筈である尚北鐵の執務上の書類は從來滿ソ兩語を使用して來たが今後は一切ロシア語を改めて日滿兩語に取り替へ沿線の驛名も一部は改正され、更に全驛名も日滿英の三國語に塗替へられ旅客の便を圖る筈である、又貨客の運賃は一律に値下げとなるが差當りハルビン新京間旅客運賃は國幣一等十二圓二等七圓二角、三等四圓八角見當に引下げられる模樣で近く具體的に發表の筈である

派遣員八班に分ち　十八日迄に出發

最初は三ケ月出張の形式

北鐵接收臨時召集事務所では派遣員を第一班から第八班までに區別けし各班毎に十五日から十八日まで現地へ出發するが各班の管轄及び出發日時は次の通り

△第一班（東部線横道河子綏芬河間）新京出發は十五日午前
△第二班（西部線札蘭屯、滿洲里間）新京出發十五日午前
△第三班（東部線ハルビン横道河子間）新京出發十六日午前
△第四班（西部線ハルビン、札蘭屯間）新京出發十六日午前
△第五、六、七班（ハルビン現地）新京出發十七日午前
△第八班（南部線ハルビン寛城子間）新京出發十八日午前

なほ派遣出張の日數豫定は確定しないが大体少くとも三ケ月間位になる模樣、出張旅費は二ケ月分原所屬で支拂はれてゐる

正式調印に於ける

日滿ソ三國代表夫々決定

來る廿三日廣田外相官邸で行はれる北鐵讓渡協定の正式調印の日滿ソ三國側全權委員は左の如く決定した模樣である日本側廣田外相滿洲國側丁公使、大橋外交部次長、烏澤聲（特辦公省參贊）ソ聯側ユレニエフ大使、カズロフスキー氏、クズネツオフ氏

新京鐵道、地方事務所　北鐵派遣員氏名

新京地元驛區各箇所の派遣員決定の分は驛の七十三名を筆頭に保線區三十二名、檢車區二十八名、列車區二十六名、機關區十名保安區二十四名、（滿人を除く）で大体二百名程度である、各區別氏名は次の通り

新京驛

恒内基義、峰松松次、大矢雄司、佐々木竹男、柴崎好五郎、五十川精次郎、諸岡克二、豐浦久三郎、平野一、永吉市之助、泉忠義、丸田兵次、西田竹男、安成壽、片淵不二男、梅井久七、井上大次郎、西山滿男、佐賀野良太、兒玉一夫、小泉政晴、宮田竹三郎、相部學、濱崎睦雄、吉村宗次、深谷政雄、織田光雄、西部貞夫、池田利夫、近藤三郎、駒木嘉藏、林田三千年、小野寺喜平、湯山秀雄、山中庄治、佐藤民治、吉岡三美、湯田喜助、市川勇三、門脇鶴千代、米良鼎寺井能市、堂文萬祐、尾形彦作、瀧井新太郎、板井登、中山孝、谷川政雄、佐藤久治、郡山正治、鈴木力、西村駒雄、宮本友一、吉岡憲、阿子島榮一、寺沼二郎、中尾武、森哲郎、鈴木善七、濱木寛城、岩崎勇、平谷正典、森井一美、西岡容、吉田重行、三浦威易、小澤龍、青木秀吉、佐藤英吾、石川西二、齋藤康治

新京檢車區

西村百一、竹田常次、古瀬八郎、藤瀬梅吉、向梅吉太郎、西村吉良、兒玉義亮、伊藤知秀、綱本廣政、馬渡作藏、鶴田竹男、增津勝、難波寅四、白水龜雄、西川清次、德重初野中喜代次、小野藤吉、立花秀次、大澤一延、藤村廉平、木田覺、小島常雄、鎌田政則、富成盛治、和田健二郎、荒木金持、田尻義男

新京保安區

山田利夫、三國賢雄、松本正喜、早津信成、淺利勝五郎、藤田裕、吉田軍治、中西文雄、[illegible]野英雄、樋口保雄、和田豐喜、門田直茶、奥田光央、三瓶節三、川原正一、齋藤三郎、鎌田一男、山田道雄、中村芳忠、宇賀四郎、藤原源治、山田文雄、盛田節、福留鐵男

新京保線區

イ、第一班　高橋義雄（穆稜工務段）濱末定夫（同）久木野實（同）猪股竹吉（同）友田政信（同）竹本武助（綏芬河工務段）菊地數馬（同）

ロ、第三班　小島甫（阿什河工務段）森田健吉（同）小林繁（同）宮本芳譽（同）久米俊一（同）益野滿登（同）阿部金二（同）松雪勝（同）鐘江正官（一面坡工務段）上田義雄（同）神谷鋼次郎（同）木村義見（同）龜井悦夫（同）本石金伯（横道河子工務段）

ハ、第六班　黑澤三郎（ハルビン工務段）佐伯共政（同）吉田直喜（同）

ニ、第八班　松本平作（寛城子工務段）横山巖（ヨウ門工務段）水星子男（同）富吉淺夫（同）川淺正適（同）石橋貞夫（同）杉野朴（同）角耕三（同）

新京機關區

久保新、高柳義信、齋藤高四郎、齋藤康、鎌田清春、東川光藏、柳岡重喜、宮崎傳助、小松原兼平、阿部菊次郎

新京列車區

石橋宗雄　二瓶是
竹内正淸　安藤重二
中尾正義　稻山良太郎
諫山義光　長瀧豐
石黑滿男　神岡房雄
木村靜雄　得田德三
戸田忠三　村上正
弓場秀雄　加藤勇一郎
川崎政喜　前田鞏夫
笹沼龍　佐藤高瀬
中橋正太郎　增田覺二
新倉忠雄　中條忠男
島本齊　福元弘

新京鐵道事務所

久保田熊吉（博克圖）、山下藤五（横道河子）、酒井鐵（滿洲里）松田信次（ハルビン）、佐藤敬一（ハルビン）、前出政人（ハルビン）、野村光雄（ハイラル）、西川虎雄（横道河子）

新京地方事務所

なほ地方事務所關係は左の十三名で登張、後藤兩氏は既に先發、件在氏は十五日、井口氏は十六日、他はいづれも十七日に出發の豫定

▲土地係　登張凱實
▲建築係　湯山吉太郎、松野文治
▲經理係　瀧澤義郎、關田行男、件在章治
▲社會係　佐々木留吉
▲土木係　松延磯次
▲建築係　後藤三助、平畑正三
▲衞生隊　佐藤三郎
▲圖書館　金在斗

アリゾナ排日土地法案

委員會握り潰す

【フイニックス十四日國通】アリゾナ州議會は十四日閉會したが、日本人叩き出しを目的に上院議員スミス氏、下院議員サリバン氏が提出した外人土地法案は排日團体必死の策動にも拘らず遂に本會議に提出されず、委員會で立往生のまゝ握り潰しとなつたので在留一千の邦人農民は漸く安堵の胸を撫で下した

團体

▲福岡農業學校生二十名十六日午後四時二十分着、扶桑旅館投宿
▲日本織物組合十名十七日午後五時三十分來京國都ホテル投宿十九日午前九時二十分發ハルビンへ
▲鹿島組工人百名十五日午後六時五十分發密林へ
▲榊谷工人六百名十五日午後十一時發寧北へ

人事往來

▲白井喜一氏（奉天鐵道事務所長兼新京鐵道事務所長事務取扱）十五日午後來京ヤマトホテル投宿
▲吉留英熊氏（奉天鐵道事務所車務長）同
▲尾花芳雄氏（奉天地方事務所機械係長）同
▲尹錫九（新京金融組合理事）同
▲大淵正一氏（西安煤礦公司社員）十四日午後來京向陽ホテルへ
▲下村純二氏（東滿人絹パルプ重役）同
▲渡邊常太郎氏（日本忽布ビール會社々長）同

街語

十五日から北鐵派遣員の出發で新京驛は時ならぬ混雜を來たしてゐる、まるで出征軍人でも送るやうな驛頭風景▼何にしても各線から一旦は新京に全部勢揃ひした上で出かけるはずだ、新京ではほんの一泊それに夜間既に列車に乘込むのだから大した影響もないと傍觀してゐては金儲けにならない▼旭ホテルが人の氣づかぬ辨當に眼をつけて、ざつと一萬圓の賣上げとは、三分の一儲かつても三千何百圓はせしめることになる、近頃惡くはない商賣だ、金儲けはいつ何處に落ちてゐるか知れない好適例になる▼どうかこれをサンプルに金の欲しい人はこの際擧つてせいぜい儲けるに如くはない▼公會堂の食堂經營者、けふそれぞれ首實驗のうへで二、三候補者を決定しやうといふことになつた、今ごろ首實驗もおかしいが、それよりも三委員では重荷と見えて、特に二、三專門家を聘して意見を聞かうといふのだが▼その專門家の顔觸れといふのはまた振つてゐる、但しこれは詮衡上の都合があつて極秘とのことだから、この際お名前は預かつて置くがどうも詮衡者側の眞意はわからない▼たゞ此際いつておくがコック採用試驗でもなんでもないのだから料理が出來る出來ないなぞ問題でない、要は人格あり且つ間違ひなく立派に經營してゆける人であれば足りるわけ……

社説

鮮農移民の問題

その希望と熱情は滿洲に！

滿洲國の建設が、三千萬の滿洲原住民族を永い間彼等が惱んだ舊東北政情の秕政から救ひ彼等のために王道樂土を展開するものであることは言ふまでもない。だが、問題はそれだけに止まるものではないのである。滿洲國成立の世界史的意義はもつと大きいことを知らねばならぬ。特に現代の段階において世界の政治經濟が迷路にまよひ困憊にあへいでゐる時に、東亞の諸民族が大同團結して王道と民族協和の大原則の上に大アジア聯盟を打ち建てねばならない今日において、この國の誕生は歴史の進歩に輝かしい第一頁を占めるものなのだ。

◇

この國において、民族の岐視は絶對に除かれねばならぬ。尊卑の分別は全く忘れ去られねばならぬ。朝鮮移民の問題も、先づ第一にはかかる根本精神において取り扱はれねばならぬことをわれわれは強調するものである。所で暫く朝鮮内部の情勢を見やう。朝鮮に在つては、人口も産業生産總額も、貿易もその八割は農民、農業生産物によつて占められてゐると言はれてゐる。だから、朝鮮の社會、經濟狀態はその農業問題、農村狀態を明らかにすることに依つて全貌を察知し得るのである。

朝鮮の農民を構成してゐるものは、地主、自作農、自作兼小作農、小作農、それと特有な火田民である。此處に見出される特徴は、小作農の數が最大であること、そして、自作兼小作農が減少し行き小作農が増加しつゝあることである。昭和五年において、小作農の數は千分中、四七二を占めてゐる。かゝる小作農の財産が平均して九十三圓でしかない。日本の小作農のそれが四千九百圓といふ額であるのと對比すればそれだけで彼らの窮乏を知ることが出來やう。斯くして、農民のうちその生活を維持して行けるものは僅か二〇%の地主と自作農だけであると言はれてゐるのである。他の八〇%のうへに人間以下の生活、動物以上の勞働が蔽ひ被さつてゐることは容易に想像される所である。

◇

しかも統計に依れば、朝鮮全土の人口增加は毎年約十五萬である。その大部分が農村においてであることは言ふまでもない。この殖ゑた人間は何處に行くか？それを收容すべき都市の工業といふものが朝鮮には殆んど無いと言はねばならぬ。そして日本内地への移植は政策的に牽制されてゐるのである。爲政當局はこれに對して土地改良事業補助低利資金貸付、自作農創定計畫などを以つて努めてゐるのであるが、かかる事業のなし得る所も專ら農村階級の上層者だけを救ふに止まるものである。

◇

だから彼等は言ふ。王道樂土滿洲國！この名は朝鮮民族にとつて興奮、希望、熱情無しには呼び得ないものであると。そしてそは地域的に滿洲の地が彼らの先祖の墳墓の地であるからだけではない。又現にその移民が血と汗とでかつての荒蕪地を美しい耕地としてゐるがためのみでもない。更に貿易において密接な關係が結ばれてゐるからでもない。ただ實に、滿洲國の出現が行き詰まつてゐる朝鮮民族の經濟生活を打開し、更に進んで彼らをして大アジア聯盟建設といふ世界史的大事業に參加し得るが故にこそ、その期待は大であるといふのである。

◇

今や過去に彼らが嘗めた土地商租權をめぐる政治的壓迫、地主高利貸の經濟的壓迫、馬賊の横行は除かれた。世界的恐慌の中に、彼らの歩みも苦難無しとは言へないが、われらはこの白衣同胞の健やかな伸び方に心からの應援を與へてその喜びの春を祝福したいものである。

支那紡經營更生に 東拓が北支進出

經濟危機救濟第一步

【東京國通】支那の經濟危機打開の試驗的第一步として東拓では北支に對する經濟提携に積極的に乘出すことゝなり其一策として今回青島、天津地方の支那紡績事業の更生援助に努めることゝなつた、即ち北支經濟更生の根本最善の策は同地方に於ける棉花栽培紡績事業の振興にあることは從來彼我識者間に屡々唱道されたことであるが、支那紡の現狀は其技術資金兩方共今や全く行詰りの狀態にあり其内の數個は最近東拓に對し窮境打開を懇請し來るに至つたので先づ在天津五支那紡に對しこれが經營を引受けることに決し目下諸般の調査を進めて居る、而して其成績如何によつては今後共青島、上海方面の支那紡に對しても從前の如き資本合辦による失敗を避け專ら經營に依つて之と一層緊密なる提携の下に其更生に資する方針を以て臨む筈で其成果如何は各方面から注目されてゐる

陸軍定期大異動

＝十五日發令さる＝

【東京國通】陸軍定期大異動は、愈々十五日午前次の通り發令されたが、師團長の親補式は午前十時宮中鳳凰の間に於て岡田首相侍立の上行はせられた

陸軍大學校兵學教官
騎兵少佐 大勳位 恒憲王
任陸軍騎兵中佐
近衛騎兵聯隊附 騎六中尉
勳一等 李鍝公
補陸軍士官學校教官
進級
豐橋陸軍教導學校長
少將 林 茂清
同 第十四師團司令部附 山田 健三
同 軍馬補充部本部長 原 常成
任陸軍中將（各通）
陸軍衛生材料廠長 田口 文太
藥劑監
任陸軍藥劑總監
麻布聯隊區司令官
步兵大佐 田島榮次郎
第五師團參謀長 安岡 正臣
同 近衛步兵第三聯隊長 奥 保夫
同 步兵第七十三聯隊長 中野 直三
侍從武官
步兵大佐 中島 鐵藏
同 東京陸軍幼年學校長 阿部 惟幾
同 陸軍戶山學校幹事 長岡 壽吉
同 第九師團參謀長 波田 重一
同 第十一師團參謀長 重藤 千秋
同 第二師團參謀長 常岡 寛治
同 朝鮮軍參謀 河村 董
同 陸軍運輸部附 田尻 昌次
同 步兵第三十九聯隊長 竹本宇太郎
同 第十師團參謀長
步兵大佐 加納 豐壽
永興灣要塞司令官
同 橫濱 和義
陸軍工兵學校幹事
工兵大佐 讀山 正雄
第一師團參謀長
砲兵大佐 鷹野 太吉
第十二師團參謀長 石田 保道
同
陸軍造兵廠總務部長 中山 德治
同

同 廣島陸軍兵器支廠長 富岡辰次郎
同 ドイツ國在勤帝國大使館付武官 大島 浩
同 近衛師團參謀長 澤田 茂
同 第八師團參謀長
騎兵大佐 久納 誠一
騎兵第十五聯隊長 和田 由恭
同 第三師團司令部附
名古屋醫科大學服務 星 松尾
同 第十六師團司令部附
大谷大學服務
步兵大佐 森尻 伊祐
步兵第五十七聯隊長 羽守 清一郎
同 滿洲國軍政部顧問 佐々木到一
同 陸軍築城本部員
工兵大佐 佐竹保治郎
陸軍科學研究所員 安達 十九
同 野戰重砲兵第三聯隊長
砲兵大佐 和泉勘次郎
陸軍野戰砲兵學校教導聯隊長 渡邊 謙
同

近衛師團司令部附
東京帝大服務 大谷 清麿
同 第六師團參謀長
步兵大佐 秦 雅尚
步兵第六聯隊長 齋藤彌平太
同 第七師團參謀長 濱本喜三郎
同 陸軍習志野學校幹事 今村 均
任陸軍少將（各通）
陸軍糧秣本廠長
一等兵主計正 石川半三郎
近衛師團經理部長 矢部 潤三
同 關東軍經理部長 鈴木餘太郎
任陸軍主計監（各通）
朝鮮軍獸醫部長
一等獸醫正 柏 五郎
任陸軍獸醫監

。。。轉　。。。補　。。。

第三師團長
陸軍中將 若山善太郎
參謀本部附被仰付
工兵監
陸軍中將 岩越 恒一
補第三師團長（名古屋）
運輸部長（廣島）
陸軍中將 三宅 光治
補第二十師團長（龍山）
步兵學校長 香月 清司
陸軍中將
補第十二師團長（久留米）
支那公使館附武官 鈴木 美通
同 第十九師團長（羅南）
工兵學校長 佐村 益雄
補工兵監
參謀本部第一部長 今井 清
同 陸軍省人事局長
補陸軍省人事局長 松浦淳六郎
同 下關要塞司令官
補步兵學校長 下元 熊彌
同
補第〇〇國留守司令官
參謀次長兼陸軍大學校長

同 杉山 元
免兼職
陸軍大學校幹事
補陸軍大學校長
陸軍少將 小畑敏四郎
補豐橋教導學校長
同 林 茂清
補下關要塞司令官
陸軍省經理局長
兼經理學校長主計總監 平手勘次郎
同
免兼職
參謀本部第二部長 磯谷 廉介
補駐支公使館付武官
參謀本部付 岡村 寧次
補參謀本部第二部長
同 參謀本部第四部長 鈴木 重康
補參謀本部第一部長
同 步兵第二旅團長 侯爵 前田 利爲
補參謀本部第四部長
兵器本廠附
（陸軍省軍事調査部長） 工藤 義雄
同 兵器本廠附
補步兵第二旅團長（東京）
同 陸軍省軍事調査部長 山下 奉文
補陸軍省軍事調査部長
第十一師團司令部附
陸軍少將 松田 巻平
補運輸部長
大阪工廠長 永持 源次
補砲工學校長

來京の阿部大將 記者團に語る

皇軍慰問、軍狀視察のため十四日午後三十分來京した軍事參議官阿部信行大將は十五日午前十一時十五分關東司令部において軍記者團と會見次の如く語つた

特にこれといつてお話しすることはありません、新國家に對する方針はその都度軍司令官が話されてゐる通りで自分として別にいふことはない、この度の渡滿は第一線に働く皇軍の慰問が目的で新京奉天等は表面だけ一通り見てゆくだけにとゞめ、出來るなら駐屯部隊いゝから慰問したいと思つてゐます

最近各軍事參議官來滿の報が傳はつてゐるがその眞僞を尋ねると

自分は旅順ではじめて紙上で知つた次第で詳しいことは知らはい、いゝことゝ思ふが果してうまく都合がつくかどうか自分は大正六年に一回、七年に二回渡滿したことがあるが事變後は初めてゞす、他の參議官も事變後渡滿した人はゐないでせう

對支關係好轉の報が頻りに報道されてゐるが軍の最高機關では如何なる見解を持つてゐられるやとの質問に對し

好轉々々と騒いでゐるのは新聞ちやないかね、そりア樂觀してゐるものもあるしあまり期待をかけてゐないものもあるだらうし、又期待しながらも警戒してるだらうよ

閣下の見解は如何でせう？

へへ…自分は要心屋の方だね、これまでにも隨分だまされた經驗があるからね

と哄笑、十一時半會見を終つた、氏は十七日朝ハルピンへ出發第一線の各部隊の慰問を了えて三十日再び新京に歸來四月一日發朝鮮を經て歸國の途に就く豫定である

工兵監部附
同 工兵學校長 牛島 實常
補仙臺陸軍教導學校長 中井 武三
同
補豐橋教導學校長
造兵廠作業部長 林 猶之介
同 大阪工廠長
陸軍大學研究部主事 岡部直三郎
補陸軍大學校幹事
第一師團司令部附
陸軍少將 渡 久雄
補近衛師團司令部附
步兵第十一旅團長 松田 國三
補第十六師團司令部附
基隆要塞司令官 中島 完一
同
補通信學校長
野戰重砲兵第一旅團長 平山 繁
同
補第十四師團司令部附 谷口元治郎
重砲兵學校幹事
同
補野戰重砲兵第三旅團長
（國府津）
東京憲兵隊長 持永 淺治
同
補朝鮮憲兵隊司令官
騎兵學校幹事
少將 稻葉 四郎
補騎兵第四旅團長（豐橋）
同 秦 雅尚
補步兵第七旅團長（大阪） 中野 直三
同
補步兵第十六旅團長（秋田） 齋藤彌平太
同
補步兵第廿八旅團長（高崎） 重藤 千秋
同
補步兵第十一旅團長（熊本） 常岡 寛治
同
補步兵第十三旅團長（旭川） 澤田 茂
同

補野戰重砲第一旅團長（三島）
同 廣野 太吉
補重砲兵學校幹事
同 加納 豐壽
補步兵第卅七旅團長（咸興）
陸軍少將 濱本喜三郎
補步兵第十八旅團長（敦賀）
同 安岡 正臣
補步兵第三十旅團長（津）
同 今村 均
補步兵第四十旅團長（龍山）
同 波田 重一
補步兵第三旅團長（仙臺）
同 伯爵 奥 保夫
補步兵廿七旅團長宇都宮
同 石田 保道
補鎭海灣要塞司令官
同 久納 誠一
補騎兵學校幹事
同 和泉勘次郎
補關東軍兵器部長

補造兵廠總務部長
步兵大佐 中山 德治
補近衛步兵第一聯隊長
造兵廠作業部長
步兵大佐 小泉 恭次
補仙臺教導學校長
關東憲兵隊附
憲兵大佐 新見 英夫
補東京憲兵隊長
京城憲兵隊長
同 荻根丈之助
補關東憲兵隊附
參謀本部課長
步兵大佐 飯村 穰
補步兵第六十一聯隊長
（和歌山）
步兵大佐 百武 晴吉
補步兵第七十八聯隊長（龍山）
陸軍省統制課長 上月 良夫
同

補步兵第十一聯隊長（廣島）
野戰砲兵學校教官 木村兵太郎
砲兵大佐
補陸軍省統計課長
砲兵中佐 神田 正種
任砲兵大佐、參謀本部課長
關東軍司令部附 大津 和郎
工兵中佐
任工兵大佐、補參謀本部課長
津聯隊區司令官 井上 政吉
步兵大佐
補步兵第六聯隊長（名古屋）
〇〇〇〇〇隊長 板津 直純
步兵中佐
任步兵大佐、補宇都宮聯隊區司令官
主計監 石川半三郎
補經理學校長
第四師團經理部長 二瓶 貞夫
一等主計正
補糧秣本廠長

陸軍省建築課長
補第四師團經理部長
同 山本 謙一
近衛師團經理部長
二等主計正 粟橋 保正
任一等主計正
補陸軍省建築課長
第八師團軍醫部長 藤懸 廣
補第十四師團軍醫部長
東京第二衛戍病院長
一等軍醫正 佐藤林太郎
補第八師團軍醫部長
獸醫監 柏 五郎
補第四師團獸醫部長

。。。待　。。。命　。。。

第二十師團長
陸軍中將 梅崎延太郎
第十九師團長
同 第十二師團長 牛島 貞雄
同 陸軍砲工學校長 大谷 一男
中將 第〇〇國留守司令官 中岡 彌高
中將 稻垣 孝照
步兵第十六旅團長 山田 健二
少將 步兵第二十八旅團長 川原 侃
同 步兵第七旅團長 平賀 卓藏
同 近衛師團司令部附 服部兵次郎
同 陸軍通信學校長 森 五六
同 朝鮮憲兵隊司令官 星川 久七
同 難波 光造

サイモン外相 二十四日訪獨

東歐ロカルノ案等に就き 獨外相と重大會見

【ロンドン十三日發國通】英獨兩國政府はヒツトラー總統の感冒により一頓挫を來したベルリン會商を復活するに決したのでサイモン外相、イーデン國璽尚書は廿四日相携へてベルリンに乘込み廿五、廿六兩日に亘つて總統官邸で外相ノイラート男等と重大會見を遂げる事となつた、右會見に於てはロンドン宣言の趣旨に基き

一、ベルサイユ條約によるドイツ政府の再軍備並に均等の確認

一、東歐ロカルノ協約案並びに均等の確認

一、東歐ロカルノ協約案並に ダニユーブ協約案

一、ドイツ政府の聯盟復歸等に就き隔意なき意見の交換が行はる可く多大の注目を惹いてゐる

英米兩公使南下策動と 外務當局の觀測

【東京國通】カドガン英公使の南京訪問並にジヨンソン米公使の南下の報に外務當局は英國は金本位離脫國への借款は法律で禁ぜられて居り米國は棉麥借款の失敗に鑑み單獨融資を好まず國際借款なら應じても可しと爲してゐるのだから右兩國への借款交渉はものにならず、最近の日支關係好轉と廬山會議を控へ南京政府の審議を打診し、日支好轉で各自の支那に於ける立場の不利になる事を避ける爲南京政府を牽制し、當面の問題に發言權を得んとの魂膽であらうと解してゐる

清朝 宮廷及政治 諸制度考察

吉井幸男（三十一）

在外綠營

督標　とは總督に統率せらる部隊なるが總督は全國に次の八人あり

直隸總督、兩江總督、浙總督、陝甘總督、湖廣總督、四川總督、雲貴總督、兩廣總督

督標は前後左右中の五ケ營よりなる

撫標　とは巡撫に統率せらる部隊なるが巡撫は全國に次の十五人あり、他の三省は總督兼任す

山東巡撫、山西巡撫、河南巡撫、江蘇巡撫、安徽巡撫、江西巡撫、福建巡撫、浙江巡撫、湖南巡撫、湖北巡撫、陝西巡撫、廣東巡撫、廣西巡撫、雲南巡撫、貴州巡撫（四川直隸甘肅三省は總督兼任す）

撫標は左右二ケ營よりなる

河標　とは北河々道總督（直隸總督兼任）永定河、北運河、南運河を管理す

河東河道總督、山東省濟寧府に駐在し、山東運河、黃河、河南懷河、衛河を管理す

江南河々道總督（漕運總督兼任）江蘇清河縣に駐在し淮河、淮陽河を管理す

河標は右三河道總督に統率せられ、各管理河の取締警備に任ず（兵力不明）

漕標　とは江蘇省に駐在する漕運總督に統率せられ、兵糧宮內府、其他政府官吏及軍隊の食祿に充當する食糧を北京に輸送する部隊（計三ケ營よりなる）

提標　とは各省の提督に統率せらる部隊なり、提督は地方最高行政長官たる總督、或は巡撫の命令指揮下に於ける最高武官にして、日本の縣警察部々長と、軍司令官とを混合したるが如きものにして戰鬪部隊と非戰鬪部隊の兩部隊を統率す、此の專任提督のある省は次の如し

直隸提督（其の親師に係る兵力計四ケ營）福建提督、湖北提督、湖南提督　陝西提督、甘肅提督、固原提督　四川提督（以上各三ケ營）廣東提督、廣西提督、雲南提督（以上各三ケ營）貴州提督、江南提督、浙江提督（以上各五ケ營）山東省、安徽省、山西省巡撫兼任す

軍標　とは八旗の將軍に附屬する部隊にして純然たる戰鬪部隊なり其の兵力等詳細なる事判明せず

鎭標　とは今日に於ける師に相當し、其の長官を「總兵」と稱し（師團長に類似す）と稱し各提督に指揮せらる戰鬪兼警察部隊なり

一個鎭は四ケ營或は三ケ營よりなる（一鎭の兵數は今日の一師團より少なきが如く思はる）

尙は各省に於ける鎭標の數次の如し

直隸省七個鎭標、山東省三個鎭標、山西省三個鎭標、河南省三個鎭標、江蘇省一個鎭標、安徽省四個鎭標、江西省三個鎭標、福建省四個鎭標、浙江省二個鎭標、湖北省二個鎭標、湖南省三個鎭標、陝西省四個鎭標、甘肅省四個鎭標、四川省四個鎭標、廣東省三個鎭標、廣西省三個鎭標、雲南省六個鎭標、貴州省四個鎭標

即ち一省內の統帥系統を圖解とせば次の如し

總督の節制を受くる場合は

總督─┬─提督──各鎭標
　　　└─巡撫─┬─布政使
　　　　　　　└─按察使

【指揮隊長を總兵と稱し其の階級は正將なり主として滿洲旗人の侍衛章京より選任せらる】

巡撫の節制を受くる場合は

巡撫─┬─提督──鎭標
　　　├─布政使
　　　└─按察使

尾崎氏等を 衆議院が表彰

【東京國通】衆議院の議員表彰委員會は十四日午前十一時院內に於て開會、初期議會以來四十三年間勤續の尾崎行雄氏及び三十年以上勤續の菅原傳、大竹貫一、安達謙藏、望月圭介、濱田國松の五氏に對し十六日の本會議に於て植原副議長の動議により表彰決議を爲す事に決定したが、尾崎行雄氏の表彰案文左の如し

議員正三位勳一等尾崎行雄君　帝國議會開設以來繼續し議席を衆議院に持ち當選十八回、在職四十三年に及び常に民意に體して公論の暢達に努む、眞に憲政の先覺たり、衆議院は君が積年の功勞を多とし特に院議を以て之を顯表す（寫眞は尾崎氏）

建國功勞賞を 佩用 衆議院全員 お出迎へ

【東京國通】第六十一議會以後滿洲事變豫算審議に關與したる貴衆兩院議員に對し滿洲國皇帝陛下よりの建國功勞章が贈與される趣きであるが、十四日の衆議院各派交渉會では御入京當日全議員が之を佩用して御出迎へを爲し友邦元首に對し心からなる敬禮を捧げることに決した、全議員が外國の勳章を佩用して公式の場所に臨む壯觀は之が嚆矢である

ドイツの空軍擴充宣言に 佛政府聲明

【パリ十四日發國通】ドイツ政府が過去十五ケ年間ベルサイユ條約の下に於る桎梏をかなぐり捨てゝ、斷然空軍整備に乘出すとの報道に對し、フランス政府は極度に憤激し十三日夜次の見解を表明した

ドイツ政府が公然空軍力を保有する事はベルサイユ條約侵犯で、幾多法律上、外交上の問題を誘致するに至る、ロンドン宣言にも各國政府は一方的に軍備上の義務を變更出來ぬ旨明記されてゐる、英國外相サイモン氏との會見に先立ちドイツ政府が獨斷的に空軍整備を決定したのは到底容認する事が出來ない

護軍官制 制定さる

皇宮內の警衞に當る護軍は重要なる勤務に拘らず定まつた官制なく偉容を整へる上又實務を採る上に尠なからず不便を感じてゐたが、今回その必要が認められ十四日帝室令第九號を以て護軍官制が公布されることになつた同官制は第一條より成り主なる職員としては統領教練官・教官、執事官、經理官、醫務官各一名　隊長三名　一等隊付、二等隊付、三等隊付各三名（以上薦任）が設置される

東満

吉林観光協會設立の準備なる

水都に相應しいその計畫

【吉林支局發】豫てより國際觀光局囑託吉田秀雄氏を中心に諸般の準備工作を進めつゝあつた吉林観光協會の設立に就ては其後各方面の諒解乃至賛同を得て實現の見透しがついたので、十二日夜名古屋館大廣間にて創委員會を開き日滿官民有志十數名が會合して種々協議の結果、愈よ十五日午後一時より吉林倶樂部に於て吉林観光協會の總會を開催することに決定したが、此機會に於て協會其ものの内容を紹介すれば、同協會は會員の會費及補助金寄附金等を以て維持活動せんとするもので當面の事業としては

一、松花江鵜飼の實現
二、吉林及新京驛前に各所案内板の設置
三、ポスター、パンフレットの發行
四、キャンプ村の經營
五、納涼園の經營
六、吉林考古品陳列所の設立

等にして、既に一部は具体的の計畫が進められつゝあるが其他にも

一、ガイド部を設けて團体及個人遊覽客の案内宿舎斡旋をすること
二、遊覽照會に對するスケジュールの作製
三、名所史蹟の保護及見學の設備
四、北山遊覽施設の助成
五、江岸遊覽施設の助成
六、小白山を中心とする一帶の國立公園計畫運動
七、スキー、スケード場の設立及援助
八、土產物品の研究
九、映畫に依る吉林の紹介

等幾多重要なる腹案を持つてゐるが、是等の計畫が次ぎ〳〵に實現されて行くことは遊覽都市としての吉林の繁榮に多大の貢獻をなすものと期待されてゐる

忠魂碑工事の入札 廿日一時民會で

【吉林支局發】昨年來民會當局に於て募集中である吉林神社醵金の一部を割きて同神社内に建設さるべき忠魂碑に就きては愈よ來る廿日午後一時民會事務所に於て工事入札を施行、請負人を決定して直に工事に着手することゝなつた

防空智識普及 講演と映畫會

【吉林支局發】近く當吉林で實施さるゝ防空大演習に關連されて先日結成された日本人防護分團では各種の準備を進めつゝある外に防空智識の普及を圖るべく來る十七日午後二時より民會樓上にて講演會を、同日午後六時からは同所に於て映畫會を開催孰れも無料公開として多數の參會を待つてゐる

成吉思の滿人富豪 日本視察に

【ハルビン國通】成吉思の滿人富豪より成る日本視察團一行は同地の日本居留民會長北内德一氏の案内で十三日ハルビン經由訪日の途に就いた

ソ聯從業員本國引揚げに臨時列車

【ハルビン國通】北鐵理事會ソ聯側ではソ聯從業員の本國引揚委員會の事務も大体一段落の形となり、ソ聯人引揚げには一日三列車當て運行して百列車が運行される事になる模樣である

讓渡後の現業事務聯絡に辨事處新設

【ハルビン國通】ハルビン鐵路局では北鐵接收後に於る現業事務の聯絡のためハルビン、博克圖、横道河子の三個所に辨事所を新設し、南部線並に西部線(チチハルまで)はハルビン辨事處が、チチハル以西は博克圖辨事處が、東部線は横道河子辨事處が管轄する事となつた

北満

赤き鐵路への袂別 平和裡に引揚準備

ソ聯主腦者全從業員に訓示

【ハルビン國通】北鐵接收の日も愈々旬日の後に迫つたが北鐵ソ聯側從業員は平穩裡に着々引續き事務の整理を行ひ管理局ソ聯側では此處數日間深更まで居殘り大童で執務してゐる、又スラウッキー總領事、ルデー管理局長等ソ聯側首腦部は全從業員に對し平和の裡に圓滿な引繼きを行ひ日滿ソ三者相協力して瞬時たりとも列車の運行に支障を來さざる樣平和的な訓示を與へた、平田接收委員長は十四日ルテー管理局長を訪問、接收事務に關し非公式打合せを行ふところあり、このところ現地ハルビンに於ける日滿ソ三國關係は極めて順調で、此分ならば接收當日スムースな接收が行はれるものと見られてゐる

接收後の改設で大連黑河間直通

【ハルビン國通】北鐵接收後拉賓線は濱江驛より北鐵ハルビン中央驛へ連絡されることになるべく之が實現の上は北鐵南部線の軌道改設と相俟つて將來大連、黑河間はハルビン經由直通することゝなり、旅客の福音は固より地方產業の發展に至大の貢獻を爲す譯である

ソ聯外交部特派員哈市公署訪問 歸國從業員の保護を要請

【ハルビン國通】北鐵交渉の正式調印切迫と共に現地ハルビンに於ける滿ソ兩國の外交使臣の往來は漸次頻繁の度を加へ、十三日ソ聯總領事スラウツキー氏の外交部特派員公署の訪問に次ぎ十四日午後同國副領事が下村事務官を訪ひ種々懇談するところあつたが會見後下村事務官は會見内容に就ては口を緘して語らず更に同事務官は十五日朝南部線列車で新京に赴く豫定であるが確聞するに右會見に於てソ聯側より歸國從業員の引揚げに際し滿洲國官憲の保護と便宜提供を依賴したものと見られてゐる

哈市の日本人激增す 一萬七千を突破

【ハルビン國通】ハルビンを中心に北滿の日本人は引續き急激な增加を示してゐるが、去る二月末のハルビン日本人は一萬五千四百六十九名で之を事變前の三千八百名内外に比較すると著しい增加で僅か三ケ年間に一萬二千人が增加した勘定になる尙民留民會及び總領事館警察に屆出ないものを合算すると現在のハルビン日本人人口は優に一萬七千を突破するだらうと云はれてゐる五族協和の理想が奏でる日本人の發展の和かなメロデイである

接收はうれし 俄景氣到來に 哈市商人大喜び

【ハルビン國通】ソ聯本國に引揚げるべき北鐵從業員は北鐵讓渡協定假調印以來俄に出發準備に取掛り旅行用具、衣類、食料品の買込みをはじめたので市中の小賣商店は多忙を極めホクホクの態である、尚シンガーミシン哈爾賓支店では僅か一週間内に六十餘臺のミシン(價格一萬五千圓)を賣上げてゐる

小麥大豆優良種配布 濱北南部兩線十八縣へ

【ハルビン國通】濱江省實業廳農務科長は濱北線南部線十八縣に對し小麥大豆の優良種を配布する事となつたが、大豆は差當り一萬五千プード、小麥は三千五百萬石配布する

帽兒山派遣部隊 合流匪擊破

【ハルビン國通】横田○圍帽兒山派遣隊の岩谷特務曹長の率ゐる○○隊は同地北方八キロ帽兒山高地に全勝、青林、八合の合流匪八十名が蟠居するとの報に接し急遽出動、十三日午前十時四十分同方面に於て右匪團と遭遇、激戰一時間の後之を潰走せしめた敵の遺棄屍体十餘その他武器、彈藥多數を鹵獲した、此戰鬪に於て我軍の戰死者は上等兵内藤竹次(原籍靜岡市森下町二ノ二)の一名であつた

龍江省公署の元年度追加豫算打合せ

【チチハル國通】龍江省公署にては康德元年度追加豫算打合せ其他貧民救濟方法につき協議すべく、來る廿日午前九時より省公署會議室に於て各縣參事官を召集の上打合せ會を開催することゝなつた

南満

洮南より派遣の北鐵新從業員

各班勇躍出發す

【洮南支局發】北鐵讓渡後假調印擧行の報に接した洮南鐵路局では以來派遣事務に忙殺され晝夜兼行の狀態であつたが、十三日管内局員中派遣人員五一三名に對し派遣命令書を交付した、五一三名中邦人局員は約五〇名内外で滿人局員が大半を占め警務關係及現業關係方面を主體とした第一回派遣であるだけに局内は意氣興漲軍人の出征にも似た光景を展開し、十三日午後八時五十九分發列車で四平街經由集合地新京へ向つた第一班第二班の人員百數十名は驛頭に局長以下主腦幹部及局員其他地方官民等多數の見送を受け萬歲と爆竹の交響裡にまだ見ぬ北鐵を胸に描き乍ら洮南驛を出發した、因に後續派遣人員の洮南出發は左の如く行はれる

第一班、第二班三月十三日午後八時五十九分
第三班、第四班三月十四日同
第五班、第六班三月十五日同
第七班、第八班三月十六日同

熱河實業廳の康德二年度產業振興策

【承德國通】熱河省實業廳に於ては省下に於ける產業の發展、資源の開發に種々苦慮しつゝあるが、同廳の康德二年度產業振興策は左の如くである

一、產業の徹底的調査 從來熱河省に於ける產業調査は極めて曖昧で實情に即せず統計の如きも信を置けない現狀にあるので此の際徹底的に諸產業の調査を行ひこれに依つて對策を樹立する
二、農業の改善 從來の如き原始的農法を廢し科學的方法に依り集約農法に改良し栽培方法、種子の改良、土壤肥料の研究を行ふ、又一方蔬類甘草の人工栽培、果樹、柞蠶の家畜等を指導奬勵する
三、農事試驗場設置 農事試驗場を設置して特に本省の氣候風土に適する作物の研究配布を考慮し又各縣には各模範農村を設け農村事業指導に當らしむ
四、產業組合の設置
五、畜產の奬勵 本省内の畜產品は頗る不衛生且下級品で當然改良の必要あり當局としては品種、飼育方法牧草の改良、加工法の研究を積極的に行ひ畜產の發展向上を圖る、又此手始めとして省公署直轄の種羊場を擴張する
六、漁業の奬勵 山岳地帶の熱河に於ては魚類の供給尠き爲適當なる地點に養漁場を設け漁業の奬勵を行ふ
七、產業視察團の日本派遣 商務會は世界商況に暗く經濟知識亦貧弱で商會を指導する能はず 依つて商務會長民間有力者等より成る產業視察團を日本に派遣し先進國の產業を實地に見聞せしめ以て省内の產業發展に貢獻せしむ

洮南總務處長 運輸副處長 十四日赴任

【洮南支局發】洮南鐵路局總務處長折田有信氏はハルビン鐵路局人事科長に、又洮南鐵路局運輸副處長一之瀨亮氏はハルビン驛長に榮進派遣されるが兩氏は十四日午後六時より局内食堂に於て開催された送別會に出席同日午後八時五十九分發列車で局員及官民多數の盛大な見送を受け赴任した

吉林商工會議所の創立總會開催

議員二十名を決定

【吉林支局發】三月十三日民會樓上に於て開會されし吉林商工會議所の創立總會には定刻迄に約六十餘名の出席があり、一時を稍々過ぎて鈴木長太氏議長席に就きて先づ本所の成立を見るに至りし經過を述べて次ぎに定款並に選擧細則に就き一同の承認を受け更に事務並に會計の報告をなし二三の質問に應答して總會を了り、引續き二時より議員二十名の選擧を行ひたるが開票の結果當選者の氏名得票は左の通りであつた括弧內は票數

(五三)鈴木良太(四九)赤池八百作(四七)江木末八(四六)堀川武雄(四六)山下峻(四四)辻川佐助(四二)岸原兼次郎(三八)宮本登(三八)森本留三(三八)今村知光(三六)堀井覺太郎(三五)遠藤梅三郎(三四)木下秀教(三一)大内貞治郎(三〇)青山勝藏(三〇)西尾安雄(二二)岩間啓次郎(二二)河野喜作(二〇)芝元正次郎(一七)増子石太郎

右終つて懇親宴に移り互に歡談を盡して散會したのは六時半であつた、猶正副會頭及各委員の互選は十四日午後一時より民會内にて行はれた

敦化城周圍に電網を敷設

【敦化支局發】頻々たる匪賊警備に頭を惱ましつゝあつた日滿警備當局では敦化城を圍繞する電網を敷設することに決定日滿民間と協力してこれが完成につとめ十四日これが完成を見た

敦化自衛團强化

【敦化支局發】自衛團强化に就いては縣警務局で愼重研究中のところこのほど縣城附近の各保甲を整備、自衛團本部を南門外に設け縣警務局の直轄として聯絡及びその警備情況を強化したがその動行は頗る注目されてゐる

長嶺縣下の大匪團討伐記(二)

農安騎兵第二旅軍事教官 山崎保光大尉の報告

五、經過戰鬪の概要

一、久保少尉率ひる部隊は後三縣堡の東南に位置す
二、自動車部隊は午後五時後三縣堡の西北五〇〇米の地點に到着之騎兵第十六團第三連長と連絡し大体久保少尉の配置を知り
イ、同連第十六團第二連を東方に移動し北方より後三縣堡家屋に屯せる匪團の背後を攻擊せしむ
ロ、山田中尉の山砲は直ちに現地附近に砲列を布き射擊開始せしむ
ハ、騎十四ノ二(東方)及警察隊(南方)に旅司令部の到着を知らしむると共に爾今山崎大尉の指導を受く可きを命じ直ちに南進して久保少尉の場所に急行せり
ニ、久保少尉より詳細前面の匪情及地形報告を受け直ちに同行せし騎兵第十五の一の一排及LMG一を久保少尉の指揮に入れ攻擊前進を命じ
ホ、武石指導官は直ちに警察隊に徒步至らしめ同時に攻擊前進
ヘ、十四の二連にも傳騎を以て後三縣堡東端に向ひ攻擊前進を命ず
ト、此の時山砲連は既に射擊を開始し後三縣堡西端に向ひ猛射中なりしが同所は匪數少なきを知りたるを以て直に同所以東の地點を射擊す可きを命じ逐次全線を統制しつゝ前進せしめしが日沒と共に警察隊の移動思はしからず

爲めに午後六時三十分中尉副官曹志誠を同六時四十分上尉副官王換林を傳令として警察隊を督勵に自動車にて急派し敵の動搖の色ありしを以て午後七時全線總突擊を敢行せり東(第二連)北(十六K第三連)西(十四KMG十五K四分ノ一、十四四分ノ一)共に同時敵陣地内に突入せしが匪賊は早くも最も弱點たる警察隊(八十二名)の左翼を突破し遂に脫出逃走せり時に午後七時二十分なり直ちに一四K第二連及警察隊に進擊を命じ其の他の部隊を集結して腰三縣堡迄追擊せしも匪賊の退却方面判明せず、其の儘の姿勢にて夜を明すに決し宿營に移れり午後八時周中佐の率ゆる騎十五團第二MG連到着せり

討伐第二日

三月一日午前六時追擊隊たる騎十四第二連よりの報告により匪賊は腰三縣堡東方より南方に向ひ更に西進して長嶺縣第五區に向ひ監家地子方面に逃走せるの足跡を發見せりとの報告に接し直ちに追擊に移れり

自動車部隊の行動

一、編制
A、旅司令部 山崎大尉、採副官、王部附、曹副官劉通譯、士兵一七
B、山砲一門 山田中尉、金排長、士兵一一
C、追擊砲一門 崔連長以下士兵一五
D、警察隊 武石指導官、公醫以下士兵五
二、行動の概要

三月一日午前六時腰三縣堡を出發し幾度か匪賊の弄せし小細工に追擊路を迷はされんとせしも幸に之を誤ることなく大家々―福慶長―大房身―四方地子―後一里界を經て十家戸に達す途中CD車破損しDは全く行動不能二〇は約五時間の修理後午後九時頃十家戸に到着せり

午後四時三十分自動車隊主力(AB)は十家戸に到着せし時A車はガソリン全く缺乏しCの來着を待たざれば前進不能に陷り之を以てBをして長嶺に歸還せしめ長嶺及茂材に六罐あるのみなり少を以て農安に電話し追給を命せり

午後十時前BC車共に十家戸に到着す

乘馬部隊の行動

久保少尉は騎十四團の第二及機關銃連を指導し午前五時宿營地を出發し匪賊の蹄跡を摸しつゝ急進し激勵しつゝ最も忠實に自動車部隊に隨從せり山本指導官は騎兵第十六團第二連陣連長は各部下部隊を指揮し稍すれば遲れ易き該隊を掌握して處命の進路を難行軍しつゝ午後六時十家戸に到着せり

騎兵第十五團周中校の率ゆる部隊は午前六時半九號屯に到着せり

本日乘馬隊の行程約百六十滿里餘にして疲勞甚しく且つ前進方向に部落殆どなきを以て同地點に於いて宿泊せり

此の追擊中匪賊は途中二ケ所に立寄り匪首大倮字は右下腹部に貫通銃創を受けあるを以て殆ど意識以明の儘馬上に搏せられ兩側より擁れられつゝ行軍しあること及匪首九龍は後三縣にて戰死せり尙第六區二里界にて馬三十餘頭を强奪し馬か入用なれは代金持參して九號屯第六區附近に來る可きを命して北進せり等事實を確むるを得たり

ホームセクション

春先の結核
榮養に注意のこと

多の寒さを凌ぎ、春の麗かな日を迎へて肺の病氣の人はよい結果を招來すると思つてゐると反對に恐るべき喀血を起すのであります

今迄全然そんな病氣を豫期してゐない人が突然に少量の血痰或は純粹の血液を喀血する事があります、それを見て患者は非常に驚き、一生不治の病氣にとりつかれた樣に思ひ、將來が暗黑になつてしまふやうな場合が普通です、然し、これは決して悲觀すべきものではなくこれが爲に養生法を怠らなければ却てよい結果を招來するので初期喀血は大部分全治すると云つてもよいものです

一、初期喀血…… 動脈出血ですから量も多量で時日も長く、そして時には喀血の爲に暫時の間に生命を失ふ事があります、どういふ處から出血するかと申しますと結核病竈の中空洞をつくつてある場合その壁の血管が切れて出血するのですから相當の重症の結核に陷つてゐるのです、この種の喀血は　出性の惡性であるから余程注意しなければなりません

二、末期喀血…… これは鼻出血や齒の出血、或ひは胃の出血が如何にも喀血の樣に現はれてくる場合があるのです、これを見て驚いて結核になつた樣に悲觀する人が少くありません、殊に胃の吐血は非常に喀血と間違へられ易いのです、吐血と喀血の區別を簡單に申し上げますと

三、疑似喀血……

一、出血の狀態―喀血の方はセキを伴ふが吐血は嘔吐で起るのです

二、出た血液の色―喀血は鮮紅色であるが、吐血は暗赤色でコーヒーの殘滓の如き狀態で喀血は非常に泡立つてゐるが吐血はかたまつてゐる

三、喀血は續いて起り、痰の中に血が混つてゐるが、吐血はその後の痰の中に血は混つてゐない

四、喀血は熱を伴ふが吐血は熱がない

初期の中に完全の手當をする事はこの病氣の全治に一番效果がありますから、春先になつて多少でもこの種の疾病のあるといふ人は特に注意して養生しなければなりません

新京ファン待望の舞姫川畑文子嬢
北鮮コースで十六日新京着

「ユカレリ、ベビイ……」「豆、豆……」川畑文子の異色ある歌は晝の街頭に、夜の

酒場 に幾度繰り返されたか判らないデイトリッヒの映畫から取られた「ジョェー」近くは、「フットライト、パレード」からの「上海リル」等、彼女の持つ醉の魅力はますます冴え來つてゐる、だが單にレコードや映畫を通じての彼女でなく、舞台に立つて踊り且つ歌ふ彼女を見、聽かなくては彼女が持つてゐる藝術を眞に理解したとは言へない、つぶらな眼がかがやいて、その胸が肩が觀衆の前に迫り、そして牝鹿のそれのやうな兩脚がリズムを踏むとき、彼女は現代の舞台藝術の王者としての力を最高度に發揮する、人々はこの時、彼女こそ現代人の胸底を搖するものを摑んでゐることを知る、今度のプログラムにも「青空」「上海リル」「思ひ出のニューヨーク」が加へられてゐるが、必ずや

堂に 溢れる觀衆の拍手と喝采とで迎へられるであらう、更に「ラクカラチア」は全くの新作でありわれわれの大きな期待を

つなぐものである、彼女はこれまでレコードでコロンビアの專屬であつたのだがつひ最近帝蓄に轉した、聞けばそれはコロンビアを辭職した某幹部に對する義理合ひから周圍の勸說をもまたコロンビア側の最好條件での引き留めを諾かず敢然行動を共にしたのだそうである、そしてすでにテイチクからは「ラクカラチア」「上海リル」が賣り出されてゐる、「上海リル」はワーナーの豪華レヴュー映畫「フットライト、パレード」の最後の場面であの美しいルビー、キーラーが

支那 の娘に扮して歌つたもの、「丘といふ丘を、街といふ街を、私は探す上海リル」といふ東洋の國際港の感じを出したその歌は今はダンスホールでも毎晩聞ける程に魅力に溢れてゐるものである、更に「ラクカラチア」これまた最近の映畫で日本の各都市を風靡したもの、その再現者として彼女ほどに適切な踊り手唄ひ手はゐないと思はれる、すでに彼女は日本海を越えて、十五日には吉林に着き十六日午前十一時三十二分一行は新京着の豫定である、記念公會堂に於る公演は十六日夜と十七日晝夜二回であるが春風爽やかな好季節、殊に土曜と日曜といふ理想的な日が當てられて居り各方面の後援ですでに前賣されてゐる前賣券は異常な賣れ行きを示して居り

向後 數年親しく見る事を得ない川畑文子嬢の妙技に接する機會を失はないやうせられたいと主催者側では熱望してゐる

朱金昭
―英ゴーモン社映畫―

「あらびあんないと」より取材した獵奇とエロチズムの橫溢した幻想映畫である、アリババと四十人の盜賊の話がゴーモン社更生の意氣を持つてなる豪華の色彩で展開される英國映畫界の隨一ウオルター・フオードを監督に起用し、配するにアンナ、メイ、ウオング、フリツツ、コルトナー、ジヨージ、ロビイ、パール、アーガイル等の嘖々たる顏觸れを以つてする、往年の「バグダットの盜賊」「東洋の秘密」等を想起して見るといゝ、近く新京映畫鑑賞會が公開すると云ふが、觀賞會もこれで何んとか目鼻をつけなければなるまい（寫眞はその一場面）

今日の献立

朝 豆腐とおぼろ昆布の清汁＝豆腐は八杯に切つて入れ、おぼろ昆布は椀につけておいて、後から熱い清汁を注ぎます、手早くて美味しい清汁です

でんぶ＝鱈のでんぶを頂きませう、鹽鱈でしたら水に二三時間浸けて、鹽脱きをします、それを茹でて、湯の中で皮や骨を除りよく手で揉みほぐして、水氣をきり、醬油と味リンで煮つけ、中ほどで砂糖を加へて、から〳〵に煎り上げます、これも澤山作つておきませう

晝 △壜鮭＝燒き立てに、おろしを添へて頂きます

菠れん草の胡麻和へ＝ホウレンの草を色よく茹で、胡麻をよく擂つて醬油でのばして和へるのですが、胡麻に一度火を通してから和へると、一そう美味しいです

晩 ポーク、ソテー＝豚肉の切身に鹽と胡椒をし、バタとサラダ油（他の油でも結構）を等分に熔した中で兩面を燒き、附合せのキヤベツはせんに切つて輕く鹽揉みをします、ソースは、ウオスター、ソースかトマト、ケチヤツプがよろしいですよ

お母様へ

吾々は立派な雰圍氣の中にゐる時は何とはなしにその氣分が上品になるものであると同樣に、遊びにあつても矢張上品な遊びをしてゐるうちには知らず識らずの間に自然と上品になつて行くものです、吾々が上品である可き事を要求するならばどうしても上品な遊びを選ばなければなりません、仔細に子供たちの遊びを觀察することはこの點から言つて極めて大切なことなのであります、次に創造心を養ふことの出來る遊びを選んで積極的に遊びを善用するやうにすることが必要です子供位眞似の巧いものはあるまいと思ふ位本能的に子供は眞似が巧く、また眞似をしたがるものです、子供たちは模倣をして得た自分の知識と經驗と運動によつて自分を表現しやうとするものであります彼等は遊びの中に於て大人の想像も出來ないことを如實に現はすものであります、最後に變化に富む遊びでありたいものです、子供の遊びは簡單單純なもので、この單純なものであることが彼等が容易に取りつき得るためのよいものなのであります、けれども甞に單純であるだけでは直ぐに忘れられて仕舞ふといふ缺點があるのです、例へばボールその他のやうなものはボールそのものが安定なものではないのでその使用方法は多種であります、これが即ち子供たちはボール遊びに飽くことのない所以であります

皆様の醬油味噌は ㊣忠

朗らか小父さん

アノヒトヨノナカデ一バンケチンボヨ
ドウシテアノヒトノコトヲケチンボトユーンダ
オクサンヲモライタインダケド丁度イイ女ノヒトガナケリヤモラワナインダッテ
アタリマエジアナイカ ダレダッテソーサ
ダケドネ アノ人ノ奥サンニナル人ワ左ノウデガアッチヤイケナインダッテ
ソレハドウシテダ
エンゲージノユビワヲカワナイデモスムカラ

一年中ある「ぶり」の見方！
種類も色々ある

この魚は季節を問はず殆ど一年中美味しいものでありますが、わけて寒からこの頃はぶりの漁業シーズンになつてゐます

成長の度合によつて名稱も變り、三四寸のものをわかな（初夏が美味です）一尺二、三寸までをいなだ（夏）二尺内外をわらさ（春）それ以上をぶりといひます

ぶりによく似てゐます赤ぶり（ぶりんばち）ひらまさの二種は夏から初かしゆんです

ぶりは鹽燒、さしみ、その他いろいろに使ひますが、北陸地方では蕪壽司にもこれを使ひ名物としてゐます、作り方は大蕪を薄く切つて鹽でかりにつけこんで、ぶりは新鮮なものを矢張り薄く作りみにして鹽をあてて後、酢の中に一晩つけておいて、ご飯はすし飯にこしらへます、そして鮨ヲケの底に熊笹の葉を敷きつめて、すし飯を五分の厚みに入れ蕪二枚の間にぶりをはさんだのを並べ、熊笹の葉を敷いたのを順々にくりかへしておもしをして一晝夜おくとよいのです

學藝欄

工作による人間教育の一端（四）

山口秀太郎

以上は主として心意的方面から見た價値であるが更に身體的方面から

眺め て決して無關係なものではないのは言ふまでもない、技能的方面から日常生活上に便利と悅樂を與へ更に思想の發表上に自由を—實業の基礎などが考へられる、形式的には手と目と腦との協働作用を圓滑ならしめ敏活精確鋭利の力を養ふことが出來る、同じく生理的方面より考へると細微筋肉的感覺神經、運動神經を使用してこれを發育させある種に於ては手腕及び全身筋骨を働かせ健康の增進に益する所が多大であると思ふ

手工教育の目的

從來手工教育にはその傾向に二大潮流とも言ふべきものがあつた、その一は生活準備的な職業陶冶に於ける實用的價値を目的とする傾向でその當然の行き方として經濟的方面に向つて重きを置き—工業初步を授け以て直接工業の改良を促し强いては生産力の增大を企圖するもので其の原因は人により色々考へられやうが普通教育の眞意味に對する認識不足乃至は一般的陶冶と職業的陶冶の概念が明瞭且つ判然ならざるか將又、より根本的な部面即ち教育を生活準備一點とのみ解することなどから、その力說の焦點如何によると思ふ

一面 の眞理はあるが全般的でなく單方的であり、専門の實業的見解のもとに手工を課さんとすが如き態度で實業學校、補習學校と區別する所なしである　その二は前者とは反對に毫も其の經濟的方面を顧慮することなく專ら教育的意味に於て一般的、普遍的形式的陶冶を主目的とするものである意味に於て教育的とも見られるが、見方によつてはみだりに個人主義的教育、規範的、形式的教育學說に偏せるとも考へられる、經濟的實用的意味を加味した處の實際的社會的陶冶が顧慮されぬ—乃至等閑視された點いと遺憾である

小學校教育の意味の上に立つての手工教育は先づ一般的陶冶、形式的陶冶をせねばならぬと言ふことは言ふまでもないことである、而し一般的陶冶と言ひ形式的陶冶と言ふも決して職業的陶冶、と乖離的のものではなく無關係ではなく内容を考へざる形式的陶冶は空に浮いたもので考へられない

更にもとに還つて言へば手工教育は諸種の材料を工的に取扱ふことにより小學校教育の目的に貢獻すべき一大使命を具有してゐるもので謂ふ所の一般的形式的陶冶とは

手工 の價値で述べた如く頭腦と手と眼の協働作用、工夫、想像、勤勞、美的情操、造形的の製作鑑賞の能、趣味等々の一般的な人間としての態度であつて、—物品を製作して販賣するとか、成るべく工藝、工業に從事する人間を造るとか又は單なる實用的方面のみに偏傾すべきものではない、「我が手は我が腕の端に接續せずして直接我が頭腦に接續せしむべし」との故人の言葉、更にドイツのライプチヒの手工室の格言に「眼を陶冶せよ手を練習せよ、意志は自ら鞏固となり理性は鋭敏とならん」と味ふべきである

而し單なる一般的とか形式的とかはあり得ない、既に先覺的哲學者間に決定を見た問題である、それ故手工科に關係せる實際生活に關聯する觀念（知識）内容を豐富にせねばならぬことは勿論である、人は畢竟社會に生れ社會に育ち成長するが故に社會的實際的生活の價値も大いに認識させねばならぬ、これ即ち多くの教育學說のある中に於て社會的教育學說が他の及ばざる根本的態度を樹立してゐる所以でもある、製作品と生活、材料と經濟的使用、手工と工業工藝及び國力と經濟、我國力と工業、日本工業工藝品の世界的進出振等に對する一通りの認識理解も必要である

かくして素材を工的に取扱ふ間に

兒童 は單純ながら現代文明を體認するわけで小學校教育の目的たる（一）身體發達（二）道德教育（三）國民教育（四）知識技能に貢獻し又手工科教授要旨たる（一）物品製作能力の練磨も（二）工業工藝の趣味養成も（三）勤勞の習慣も可能なわけである

そして教授要旨そのまゝの遵奉によつて、又は手工の教授によつて手工教育の目的が達成され完成されるとは直ちに考へられない、一般教育學にあると同じく目的、養護、訓練、美育があり又あらねばならぬ

手工教授即手工教育とは考へられない手工教授は手工教育を完成させる又は完成に近づかしむる重要な手段だが唯一ではない、手工教育の目的は手工教育の價値觀によつて定まるべきもので思ひつきの一二項や目前の偏狹や流行で定まるべきでない、之即ち自分が單なる實用主義的の目的論は勿論のこと、比較的正しいと思はれる正しい意味に於ての一般的形式的陶冶主義の目的論にさへ尙はつきりしたぴつたりした心を持たぬ所以である（續く）

コドモの世界

室町小學校作品

まめまき　尋二　飯野　絹子

私は二月四日の日にまめをまきました。私はまめをかひにゆくのでしたがかぜをひいてゆかれなかつたので、でんわでとりました。いよいよまめをまく時になりました。お兄さんが「ふくは—内、鬼は—外」といひました。私はおとうさんもおねえさんもいないからつまらないわといひましたおかあさんもさうねといひましたおざしきぜんぶすんでまつたころおとうさんがかへていらしやいました、においさんも私も「おかへりなさい」といひました。おとうさんは「みつをもうみんなすんだか」とききました。おにいさんは「おざしきだけすみました」といひました。おとうさんは「さうか」とおつしやいました。おにいさんがおうせつまにいつて「おには—外、おには—外、ふくは—内、ふくは—内—ふくは—内」といひますとおとうさんが「こうやつてまくのだ」とおつしやつてさんぼうにいれてゐたまめを一つかみつかむと私はよくわかりませんが「なんとかの千の目だまぶつつぶせー」といつてまめをばら〳〵まきました、そこへおねえさんがかへつてきて、「まあすてきね」とおつしやいました。おとうさんが「どんなもんだ」といつたのでみんな笑ひました。それからまめをとしのかずだけたべました。

節分　尋二　高見　敏弘

ぼくは節分の朝學校に來る時から、早く豆をまきたいなと思ひました。そしてしらづに「早く豆をまきいなあ」といひました。そしたらお母さんが「豆をまくのは晩ですよ、早く學校に行きなさい」と、おつしやいました。ぼくは、ひよつと、學校に行くのを思ひ出して、いそいで學校に行きました。そして學校がおはつたらはしつてかへりました。そして晩になるまで、早く豆をまきたいなあと、思つてゐました。もう夕方になりました。ぼくは、お母さんにたのんで豆をいつてもらひました。そしてますに入れて、神だなにそなへました。そしてしばらくしてからますを、おろして、ぼくが「鬼は外、福は内」と何かいもへやをまきあるきました。弟が「やあ鬼がにげた」といひました。豆まきが、おはつてから、さとうをとかして、豆につけてたべました。

アカチヤン　尋一　オクシロ　モトコ

私ハ學校カラカヘッテ、アカチヤンヲダッコシテイテオモチヤヲアゲマシタラスグオシテシマヒマシタ。サウシテ私ノハナヲツマミマシタ。ソウシテホッペタヲカジリマシタ。私ハアカチヤンガスキデシタカラ、オコリマセンデシタ。オカアサンダッタラ、アカチヤンノセナカヲタタクノデスガ、私ダッタノデヨカッタトオモヒマシタ。

ダイスキナヒデチヤン　一年　宗　京子

ワタシハ、ヒデチヤンガカハイクテタマリマセン。二ツノ時カラ、ハシッタリモノヲイッタリシテイマシタ。モウヒデチヤンハ三ツニナリマシタ。ヒデチヤンハ、ワタシノコトヲ、コッコチヤントイヒマス。ワタシガ「ヒデチヤンノオテンパ」トイフトスグマネヲシテ「コッコチヤンノオテンパ」トイヒマス。ヒデチヤンハトテモオママセサンデス。ワタシガヒデチヤンノオウチヘイクトスグ「チクオンキヲカケテ」トイヒマス。ヒデチヤンハオトコデスガ、マルデオニンギヤウノヤウデ「一日ハパッチリトイロ白デ」トイフウタノヤウデアリマス。ワタシハ、ヒデチヤンガ大スキデス。

おみやげ　尋一　かねがえい子

コノゴロ大レンカラオヂサンガイラッシヤッテ、私ニオニンギヨウヲクダサイマシタ。オネエサン、二人ハブンポウグデシタ。オトウトハ、ツミキデシヘラテレタ。私ハオヂサンガカヘラレテ、ソノオニンギヨウデアソビマシタ。ソノオニンギヨウノウチデ一バンキレイナノヲヒメニシテ、アトノヲヂヨチユウニシテアソビマシタ。デモコノゴロハオニンギヨウガアキタノデ、オトウトガオヒルネノ時コッソリツミキデアソビマス。

家庭經濟と電化問題（二）

在新京　野村　薫

電氣設備と經濟關係

今更電氣がエネルギー供給の經濟的覇者たるの資格を有することは論を俟たないが、このエネルギーを利用する家庭電化の上においても電氣設備と經濟關係を考慮して、電化促進と能率向上を計らなければならない、即ち電氣機械器具の大衆化、用途別に必要なる器具製造業者の選定、に就て深甚の注意を拂ひ需要者、供給者共に之が能率向上に全力を盡すべきである、殊に電燈其の他特殊器具に對しては點滅スヰッチの增加と、最も便宜なる取付位置を選び光の浪費と不必要時に於ける電力の節約を計らなければならない、更に家庭電化の急務としては晝夜送電に係る便利且つ經濟なる從量制の促進を圖る事である、今日の如く家庭用電器具の目覺しき普及發達を見るに及んでは殊更合理化にして且つ便利經濟なる從量制供給を仰がねばならない、又從量制に於ては之に電流制限器を併用して準備料及び最低料金の低減を計り需要者に對し多大の便宜をあたへるべきである

今や家庭電化の聲が[illegible]力強く叫ばれてゐる折柄吾々は先づ都市の全從量制の急務なるを痛切に感ずるものである

取扱ひと經濟關係

文化施設の進展に伴ひ各種電氣器具の製作技術は最近著しき發達を見るに到りたるも之を使用する家庭においてその取扱法と注意を怠るようでは家庭電化の眞の經濟價値を發揮する事はできない、即ち不必要時に於ける電氣の節約は當然であるが、器具に對する掃除、手入の勵行及び濕氣、煮焚汁等をあたへざる樣注意し就中電熱器の發熱體に金物を接觸し又は之を覆ふが如き事なき樣且つ器具の空燒、コード及スヰッチの取扱等充分注意を要すると共に器具取扱に關する電氣の素養を涵養すべき必要がある、尙電熱はスヰッチを切つた直後に於ては相當の餘熱を有するものであるから、これを充分利用し家庭經濟の一助を計らねばならない、ともあれ吾人は最善を盡して國民電氣科學知識の普及向上と家庭電化の使命に對する大方の認識を深め之が急速なる普及發達を期し全國民をして一日も早く此の有益且つ合理的なる電化の恩惠に浴せられん事を祈つて本稿を了する所以である（をはり）

海外ニュース

空の旅勸誘に　マッチ宣傳開始

英國空輸事業を一手に引請てゐる倫敦の英帝國空輸會社では、今度アフリカ、印度、東亞への空の旅を民衆に對し勸誘する爲、定期空路發着場をマッチのレッテルに圖案し市内に散布宣傳することとなつた

オスロー大會　三國間惡霧園氣

北歐オスローの空の下に展開された、日、伊、芬三國のオリムピック爭奪戰は既報の如く、來年の伯林大會までその勝敗の歸趨が不明となつたわけだが、恐らく向後一ヶ年間は三國間に猛烈な砲火が交されるものと見られ事態は異樣の雰圍氣を孕みつつある

新刊紹介

◇旅行滿洲　三月號

ツーリストビユーロー大連支部が發行する隔月刊の雜誌、寫眞に記事にます〳〵充實を示してゐる、北鐵接收を前にして新帶國太郎氏の「北鐵西部線の車窓展望」をはじめ北滿關係の記事が多い（大連市伊勢町五四ジャパン、ツーリストビユーロー大連支部發行定價金十五錢）

幼年倶樂部　四月號

◇三月から四月へかけて、新學年のために、入學兒童のある家庭では、どこも非常時の緊張を呈する、入學が六かしくなるだけに進級にも仲々の緊張ぶりで、姑許花の三月四月も忘れ顏である

◇いざといふ場合の力をつける準備工作、課外讀物への關心もこの頃は一層切實ならざるを得ない、低學年兒童雜誌では、まず筆頭第一の幼年倶樂部が、特に四月號に倍大的力の入れ方もさこそと首肯けるわけ

◇低學年中でも上級の三、四五年生諸君のためには「うかれ子馬」加藤武雄「見えない飛行機」山中峰太郎「少年早起村」山治武夫「權太栗毛」高桑義生「八雲と鷹丸」宇野浩二「竹の子童子」小泉長三などが眼につく

▲低學年中の低學年生程度には、流石に童謠でよいものが少くない、童話では「キネンのサクラ」「恩ヲワスレナカツタペニスヾメ」「オネーサンのオミヤゲ」「モン吉のてがら」其他がある

◇上野動物園長古賀忠道氏の「めづらしい動物のおはなし」家庭では、此種の讀物が非常に歡迎されてゐるらしい

◇附錄は、この動物に因みのある「動物園」組立式のおたのしみである

日日案内

廣告料
三、一行一回金五十錢
一、一行一回金三十錢
一、一回金八十錢
十行以上一回金五十錢
掲載日指定一割増
後拂料金は一名に在社金

賃間
新發電燈樂路其他完備
六疊風呂付
日本橋通四四バレー商會伏出

讓家
下宿業、料理店
病院向
姓名在社

邦文タイピスト
午前、午後、夜間
朝日通日本タイプライター

恩給
國債勸業債券高價買入
年金便利金融
新京永樂町三丁目二番地
永樂莊三五號ボシン商會
電六一一九三番

營業
簡易宿泊所
城内東四馬路廿八
公益旅舍

あんま
高橋療院
電五八六七

▽御紋上繪
▽ぬい紋
紋美堂
三笠町三丁目

あんまは大天狗へ
吉野町二丁目市場西門西入
電話二七三六番

茶と茶道具の店
みどり茶園
吉野町一丁目　電四七七〇番

漬金
高價買とマス
中央通り
岩間商會室石部

觀世流謠曲教授
白瀧師範
新京觀世會
八島通十一　電三七六二番
謠本用品御需に應ず並

看板は玉江へ
新京キネマ前
電話六九三七番

タイピスト生徒募集
邦文タイプ綜合教授
日本タイプ
永樂町一丁目(ダイヤ街)
白石屋商會内
日滿タイピスト學院支部
電六二九五番

帳簿洋一式
各種製本專門
三省堂製本所
三笠町三ノ九
電話三三三四番

京染と洗張
新見本色々着
吉野町一丁目消防隊裏通
にしきや京染店
電話六五九〇番

修繕部
各種測量機械
各種製圖器
タイプライター
各種計算器
各種寄管器
新京日本橋通八二
大久保商會
電話三三二〇番呼出

軍犬
用具品首輪引紐其他種々獨乘七バート社應爰配

獺の膽
四川省産、肺病、喘息、衰弱、呼吸器病一切
三笠町五
藥種商　**藤生堂**
電話三〇九四番

公債株式現物問屋
三泰號
新京日本橋通四九
電話三八八五番

土地家屋
土地、家屋、賃貸借
賣買、周旋紹介、公認
×××××朝日通十七
新京土地建物會社
電話長四八二八番

被雇度

求人求職は
三笠町三丁目廿五番地
公認　新京職業紹介所
電話五五二〇番
官公出前持　女店員
會社員　店員　女中
事務員　外交員　女給
銀場ボーイ　子守
整理人　女事員

特別廣告

質
保管確實
流質品安賣
祝町二丁目七ノ四
博多屋
電六三六四番
貸出勉強

解体部分品並ニ中古自動車販賣
29 大型ビウイクセダン
29 エスエクスセダン
29 エスエクスホロ
28 シボレーセダン
28 プリムスセダン
32 新フォードセダン
34 新フォード上物セダン
31 新フォードトラック
31 シボレートラック
33 新フォード二台トラック
33 ダヂブラザー物トラック
34 上
皆在庫品豐富
新京日本橋通城内入口
大馬路八八ノロネコ
前田商會
電話六七六八・二四二六番

哈爾濱
松花ホテル
電五六四三番

新京土産と
滿洲みやげ
新京驛構内
趣味のみやげ賣店
電話六五四三番

質は最上!値は最低
はっとりのひよこ
三百卵級多産鷄、實利用各種、
初生雛、中雛、種鷄、生産育成、
育雛器孵卵器、餌水容器、藥品、
飼料、圖書及養鷄百貨製産販賣
月刊時報無代進呈
名古屋市中區廣路町四三
服部養鷄園
電東四二七七番

骨きり
セキズイ病(コツマク炎)かんせつ炎何れも永い病である身体不自由でシビレ又はウミ溜るハレル穴あくセボネ曲る之れ迄百方治療するも甲斐なく全くつらい悲しく泣いてござる人多くある誠に御氣毒千萬である同病者の爲良藥を知らしたし二錢切手封入御申込次第詳報す
明石市相生町
長壽園製藥所

五十圓から出來る
石鹼化粧品小間物の店
▽商賣を始めたいが△
「わづかな資本で安全に確實にもうかる商賣はないだらうか」と云ふ御方はとにかく御尋れ下さい本業に副業に限らず良い石鹼化粧品小間物の店の開店方法を御報せ致します
小間物、化粧品、袋物、學用品問屋
名古屋市中區小林町三一
野田屋商店

聯合發展會
滿洲代理店
大連中央國旗店
カタログ送呈
合名會社 **伊藤旗店**
名古屋市西區本町電本一四〇二番

本春、夏向
洋品雜貨品揃
御申越次第カタログ呈上
名古屋市中區菊里町
伊藤彦商店
代表電話中四三三四番

特許　**水道用文化接手**
本特許品は從來の不便な接手と違ひホースを差込めば水壓により自然に締り簡單につけ外しの出來る水道ゴム管用の接手であります
見本は前金御送附の方に限送料弊店負擔

名稱	1/2(四分)	5/8(五分)	3/4(六分)
ノヅル	五〇	五〇	六〇
ホース接手	二〇	二五	三〇
消火口接手	六〇	六〇	七〇
二方カラン	―	五〇	―

特約店・總代理店募集
名古屋市中區古渡町四丁目二一
製造發賣元　合名會社 **柴田商店**

白ナマズ
外出するにも自然遠慮勝ちなるハンテンで惱む人二錢切手封入申越詳細す
ナマズの初期は豆粒の如き極小のハンテンが打捨て置くと次第に顏面身体に差別なく發作し頭髮の中迄でも廣がる恐しい病ですれ色が惡くなる美貌は害され肌たれ例もため良縁も破談となる…
明石市相生町
長壽園

養鷄
各種優良種鷄の
初生雛
カタログ御請求下さい
一宮市下町
祖父江養鷄人工孵化場
電話長七〇六番

十五日より三日間
(每日晝夜三回興行)
階下 六十錢
千姫
梅村蓉子主演
市川春代、井染四郎、相良愛子、横山運平共演

銃後に咲く
華やかな出征の蔭に咲いた純情の涙の物語り
辻吉郎監督
尾上菊太郎
澤田清
澤村國太郎
山本禮三郎、金子弘
久米譲、大崎史郎
鈴村京子、嵯峨野みや子、助……競演

風流深編笠
將軍の内命をうけた松平長七郎が西國各藩を巡訪するといふので各藩は驚いた中でも或藩の家老は陰謀を企んでゐただけに長七郎の入國を恐れた…所がその問題の長七郎が三人出現したといふ關所よりの報せに事件は混亂して破亂萬丈……謎の人物三人を巡って興味の怒濤感激の洪水です……

新京キネマ
電話二〇六番

大阪商船出帆
門司、神戸(大阪)行
▲印二三等船客設備船
×印廣島寄港
(午前十時大連出帆)
ばいかる丸　三月十八日
亞米利加丸　三月十九日
うすりい丸　三月二十日
×▲たこま丸　三月廿一日
吉林丸　三月廿二日
大榮丸　三月廿四日
×志あとる丸　三月廿五日
うらる丸　三月廿六日
はるびん丸　三月廿七日

切符發賣所
滿鐵沿線主要各驛及各地ジャパンツーリストビューロー案内所
船車連絡切符(往復切符は汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ヶ月)
大連、門司、神戸間乘船切符(往復切符は復路運賃二割引通用期間三ヶ月)

專屬荷扱所
各地國際運輸會社支店
大阪商船株式會社
大連支店電(二)一五一一番
奉天出張所電話四〇八九番
新京出張所電話三二一六番

北日本汽船
日本海日滿連絡船敦賀行
◉滿洲丸　每月六、十六、二十六日
　雄基發　前九時
　淸津發　後五時
◉天草丸　每月一(大月卅一日)十一、二十一日
　雄基發　前九時
　淸津發　後七時
◉國鐵及滿鐵主要驛並にジャパン、ツーリストビューローにて敦賀經由内地主要切符發賣實行連絡

料理 大吉
富士町
電話二一五一番

料亭 桐壺
梅ヶ枝町一丁目
電話四七九〇番

生徒募集(見習生入用)
洋裁手藝教授
婦人服　小供服
帽子　袋物
刺繡　造花
風景　人形其他
婦人服、小供服其他一切御希望に依り調製致します
新京曙町四ノ六(三利公司)
白菊會
電話五八二一番

硝子 鐵材 塗料
其他土木建築諸材料商
新京ダイヤ街老松町
T.A
天野商店
電話長二九六七・二九二五番

責任を以つて推奬出來る!!
セメントと石灰の着色劑
絶體不變色
鑛物性顏料
「**岩城セメントカラー**」
(容器一封度、五封度罐入)
●カベ塗料カセインの特價提供●
カタログは御申込次第進呈
新京總代理店
和成公司
梅ケ枝町一丁目六
電話四七九〇番

吉野町の
「御壽司」の御下命は!
浪花館
御旅行!野遊には當店自慢の松前壽司を!!
「出前迅速」
電話三二八三番

▼產科
▼婦人科
▼性病科
(元博仁醫院)
沖津醫院
同產院
入院隨意
妊婦懇切に預る
院長醫學博士 沖津亘
日本橋通二〇
和登洋行左入
電話五六八九番

天然温泉より數倍効能ある
家庭温泉藥
草津の素
家庭用　金一圓二十錢(十二回分)
營業用　金八圓五十錢(德用分)
▽適應症△
●神經痛●リウマチス
●子宮内膜炎●一般婦人病
●痔疾きれ痔●水虫、田虫
●拔毛、冷症
●一般傳染性皮膚病等
右の病氣で御困りの方は至急御來店あれ一回分試驗用として無料進呈致します

特徵
▼湯上りの氣持よく湯ざめせず
▼手拭等に汚染することなし
▼湯上り後はサラリと臭がぬけます
▼落湯にて洗濯最もよろしい
▼日常御使用の方は色を白く肌を美しく
▼便所に流せばウヂ絶對に生ぜず
▼肥料として効果大なり
効能確實なる事御認めの御方は同病患者を御哀れみ人助の爲め御吹聽を願ひます
人助のため一回分無料進呈致します
滿洲の御家庭には必需品であります御試驗を乞ふ
滿洲發賣元
NES
合資會社 **福長公司**
新京大經路四馬路角
電話六三九六番

地方特約店募集

草津の素

割烹 **幸樂**
おちついた御座敷
家族的で高尙な……食道樂
四十人樣迄の御宴會
御相談に應じます……
入船町二ノ一七
電話二六六一番

錦ビル第一、第二、第三經營
土木建築請負
山口組
山口正太
事務所 新京錦町三丁目五　電話五七四八番
自宅 新京錦町三丁目七

甘栗
栗羊羹
高級果實
小包便として甘栗を内地送りの取扱を致します
新京吉野町二丁目
甘栗太郎
電話二八八七番

營業品目
揮發油　モビール油
石油　グリース
洗油　アスハルト
發動機油　クレオソート
重油　コールタール
機械油　カーバイト
車軸油　カーバイトランプ
日本石油株式會社
代理店
出光商會出張所
新京朝日通　電話四八五番

輝く……春陽の魁
衣裳の陳列會
吉野町二丁目……
村岡呉服店
電話二一四〇番

特許實用專賣
錦戸式
燃料節約無煙裝置
カーチペ
本支店
大連、旅順、奉天、營口、安東
北鮮羅津、錦州、チチハル、ハルビン
承北、岡門、吉林
新京八島通四〇
電話四八九五番
錦戸商會

我らのフミコ、川畑　今夜からお目見得
渡米の日を目睫に控えて　記念公會堂で公演

"琥珀のベーカー"

天才的舞踊家でジャズシンガーを兼ねてゐる川畑文子孃に若いアクロバチックダンサー宮野千代子孃

帝蓄專屬の歌手楠木繁夫氏、ピアノの小泉信一氏を加へた一行はいよいよ本日新京到着午後六時から記念公會堂のステージを踏むが昨年の公演では定刻前に滿員になつた位の人氣で迎へられたあつたし今回は川畑孃がRKOに招かれて六ケ年の契約で渡米するその送別となるもの今夜とあす晝夜二回の公演は前回に倍する盛況を見ることゝ豫想されてゐる、プログラムには一部變更あり次の通りである

第一部
一、ピアノソロ　小泉信一
ノ　ラ
二、獨唱と舞踊　川畑文子
A、ダンス、エンド、ソング
B、リズムダンス
三、獨唱とアコーデオン　楠木繁夫
A、二千萬人の戀人
B、あゝうらぶれのギター
四、獨唱と舞踊　川畑文子
A、青空
B、上海リル
C、ファンダンス
五、舞踊　宮野千代子
エクセントリツクダンス
六、獨唱　楠木繁夫
A、白い椿の唄ピアノ伴奏
B、枯野のバラ
七、舞踊　川畑文子
タンバリンダンス
（休憩二十分）

第二部
八、舞踊　宮野千代子
ワルツ
九、新舞踊　川畑文子
A、十九の春
B、男心
十、獨唱とアコーデオン　楠木繁夫
A、黒い瞳
B、國境を超へて
十一、新舞踊　宮野千代子
インデアンダンス
十二、舞踊　川畑文子
マンハツタンセレナード（休憩十分）

第三部
十三、ピアノソロ　小泉信一
ハイテイングソング
（メンデルスゾーン曲）
十四、舞踊　宮野千代子
アクロバチツクダンス
十五、獨唱　楠木繁夫
A、ハイキングの唄　ピアノ伴奏
B、影をしたひて
十六、獨唱と舞踊　川畑文子
A、ラ、クカラチヤ
B、思ひ出のニユーヨーク
C、パイパイブルース

明日マデ

高橋、佐竹兩氏
▽……驛長昇任内命

北鐵接收派遣員の動靜に伴つて滿鐵々道部においては助役級及び驛長級の異動も相當廣範圍に行はれるものとみられてゐたが十五日午後、新京鐵道事務所旅客主任高橋勳一、新京驛事務主任佐竹榮の兩氏にそれ〴〵左の通り内命があつた

新京鐵道事務所旅客主任　事務員　高橋勳一
任開原驛長
新京驛事務主任　事務員　佐竹榮
任公主嶺驛長

同時

開原驛長に榮轉の高橋勳一氏は昭和六年五月新城子驛長から轉勤當時滿洲事變の勃發と共に軍隊輸送その後急速に膨大せる國都新京の旅客は滿鐵有史以來の激增ぶりを示したにも拘らず旅客輸送その他一般營業に獻身的努力をつくした名旅客主任だけあつて今回の榮轉は當然のものである、公主嶺驛長に榮轉した佐竹榮氏は昭和八年六月蓋平驛長から轉勤したもので國都に定められて以來國都の表玄關となつた

同驛

の馬車問題構内改築その他一般接客方面につくしたその功績は大なるものがあつたなほ佐竹氏の後任には大連鐵道事務所員柴田亮之助氏と決定

間島地方森林の濫伐を禁止

【奉天國通】間島地方の森林伐採は從來無統制で濫伐は舊態依然として行はれ治安肅清上弊害甚しいものがあり、其根本的整理を必要とするので本年二月二十日以前に伐採を許可したるもののうち即時整理を要する九林場の伐採を中止せしめた

滿洲電業公司に運動部新設！
期待さるゝ國都のスポーツ界

一九三六年の新京スポーツの微笑―滿洲電業公司ではスポーツによる公司員の協調を圖る目的で今シーズンから公司内に倶樂部を設け更に硬式野球部、軟式野球部、軟式庭球部卓球部、バレーボール部、蹴球部、柔劍道部を設けることにほゞ決定し目下具體案の準備にとりかゝつてゐる同部長には原口人事課長が任命されることになつた、同公司の運動部の設置は新京スポーツ界の大刺戟となり今後新京スポーツ界はより以上に振興されるものとし一般から期待されてゐる、同公司内のラグビーの如きは全滿でその名を知らしめてゐる、又硬式野球部は滿洲國側並に全新京と對立することになるべく興味をもつて見られてゐる

新京市場　二月中賣上高

新京市場の二月中における鮮魚および菜果の賣上總額は四萬三千五百三十九貫、價格六萬七千五百五十五圓六十九錢で一月に比し五千八百余貫價格四千二百余圓のいづれも增加を示してゐる、二月中の賣上を各種別に示せば次の通り

鮮　魚	三、四三貫	毛、三九六
蒲　鉾	一、四三六貫	五、四三一、〇六
鹽干魚	八六二貫	一、六五、〇一
果　實	三三貫	五四〇、一六
野　菜	六、四三貫	三、〇八、八九
計	三、三九貫	六〇、五五、六九
一月計	三七、七六貫	六三、三〇、九九

なほこれを前年同期に比すれば二萬貫約三萬圓の激增ぶりである

（……訓練時刻、訓練日、店員訓練上の希望、出席督勵服裝その他について種々隔意なく意見を交換し午後五時すぎ散會した）

スポーツの職業化を嫌ふ
原口人事課長の談

右倶樂部の設置につき原口人事課長は語る

公司内に倶樂部を設け運動部を組織したことは滿洲電業のスピツチの振興をはかるもので徒に職業化せないことをモツトーとしてゐる本社所在である新京へは各部を設け各支社にも同樣に設ける考へだ

業務合理化講習　昨日から開く

滿鐵總務部審査役主催の第八回業務合理化講習會は十五日午後一時から記念公會堂で開催されたが聽講者約五十名、今十六日も引續き開催される講師演題は

滿人勞働者の管理から見た體力　大中信夫
滿人勞働者の簡易鑑別法　和田壽夫

特別志願士官三百三十名　陸軍省採用

【東京國通】陸軍省では十五日附官報告示を以て特に志願士官三百三十名を（歩兵科百八十六名、騎兵科六名、砲兵科百八十六名、騎兵科十六名砲兵科六十五名、工兵科廿三名、輜重兵科十名、計理科卅名）採用する旨發表した
右は陸軍が滿洲事變の勃發により軍備の充實を圖るため現役將校に不足を告げたので、之を補ふため一昨年特別志願士官を採用したがその成績は逐次良好に向ひつゝあるので本年再び募集する事になつたものであるが、殊に今年度は前回の經驗に鑑み先づ採用者を歩兵學校、騎兵學校、砲兵學校等で約三ケ月間必要な教育を施した後實務につかしめる事になつた、尚志願資格は滿卅歲以下の豫備後備將校で志願期日は四月廿日迄である

大日本武德會滿洲支部設立！
十九日第一回準備打合せ會

高遠なる理想を孕んで躍進の一途を辿る大滿洲帝國に傳統的日本精神を鼓吹すべく愛國的情熱を包持する靑壯年の一團が武道奬勵よりする目的の達成を企圖し、曩日來大日本武德會滿洲總支部設立の計畫につき寄々協議中であつたが來る十九日（火曜日）地方事務所に於いて、民政部佐野大次郎、滿鐵地方事務所野村茂理同高橋淸輝　新京警察伊藤左武郎の諸氏並びに石井中央警察學校教官等が中心となり、第一回打合せ會を開催、種々具體的協議を遂げることになつた、尙仄聞する處に依れば滿洲總支部設立資金はこれを滿洲國滿鐵、關東局其の他一般有志より募り一種の財團法人的組織とするものゝ如く、同支部の設立は前述の意味に於いて早くも各方面の關心と期待を集めてゐる

（前八時頃所用ありと立ち出でたまゝ行方不明である、同人の室のトランクをあけて見ると中には寢卷一枚のみはいつてゐた）

靑訓座談會　きのふ公會堂で開催

新京靑年訓練所では十五日午後二時から記念公會堂で座談會を開催、地方事務所、地方委員、區長、國防婦人會父兄生徒ら約五十名參集、管理者武田地事所長の挨拶についで辻主事から靑訓狀況報告、生徒の感想、四戸後援會長から後援會槪況を終つて關東軍兵事部將校の講話を聽き座談會

同鄕だとて由斷は禁物
こんな目に逢ふ！

本籍宮崎縣兒湯郡上南村大字上南三四七五番内宮種美（二二）は十三日朝來京同鄕の滿鐵勤務稻田正春氏を和泉町白山寮に訪ね今度×××に勤めることになつたが二三日君の家に置いてくれと賴み込んだので稻田は事實と思ひ内宮に室の鍵を渡して出勤、夕方歸宅して見ると同室の田川捨古氏、隣室の藤山三郎氏の所持品合計十四點時價百餘圓を竊取逃走、稻田氏の室には第七博多屋の質札十圓、五圓の二枚を投げ込みあり「恩を仇でかへしてすまぬが惡く思はないでくれ金は電報爲替で送る」といふ置手紙をしてあつた、屆出により新京署では直ちに全滿に逮捕の手配をなしたが内宮は十三日夜市内三笠町大丸旅館に岡山縣吉備郡足守町郵便局小包係川口正孝（二二）と稱し投宿同夜八時頃一度歸館十一時頃再び外出午前二時頃歸館、寢、十四日午

執拗な匪賊團萬寶山に策動
古賀巡官等一部を逮捕す

長春縣萬寶山警察署管内に無許可にて銃器を所持せるものあり高粱繁茂期をまつて何事をか畫策せる情報に接した首都警察廳司法科では古賀巡官以下八名が十四日同地に急行長春縣萬寶山萬寶甲西王家屯を夜襲冷恩普（二九）を逮捕銃器三八式歩兵銃二、同實包五十、全釣子槍一、別力提槍一洋砲一を押收して十五日引揚げた、冷の父は冷魁玉（五四）といひ南陽と稱する匪首で滿洲事變前は部下五十名を有し長春、九台、德惠、農安各縣下を横行し掠奪放火殺人等あらゆる惡事を働き一昨年六月十五日宇倫警察署太平山分駐所管内五間房架に於て北量甲自警團員が太平山よりの歸途を擁し高粱畑より一齊射擊をなし銃器拳銃二挺、小銃二挺實包多數を掠奪したものである、當副頭目の所在もつきとめたので古賀巡官以下は十五日午後十時頃出發夜襲を行ふ筈である

滿洲國皇帝歡迎豫算決定
貴衆兩院共即決

【東京國通】滿洲國皇帝御來訪に伴ふ歡迎豫算は特に敬意を表し豫算總會に掛けず十六日の衆議院本會議に上程即決可決の上貴族院に送付同院に於ても同樣即決することとなつた

公會堂食堂委員會
けふ候補者決定

記念公會堂の食堂經營者に關する特別委員會は十四日開かれたが、その結果、今十六日午後一時から公會堂で特別委員參集、請負申請者十三名を招致してそれ〴〵首實驗のうへ事情その他を聽取して當日三名程度の候補者をあげ、そのうへ理事會に諮つて最後の決定をなすことになつたが右詮衡は委員會でも相當手古摺り十七日の委員會では特に食堂經營についての二三專門家を聘して意見を聽取することになつてゐる

京圖線方面からの木材出廻活潑！
動きかけた國都の土建界

解氷期が例年よりぐつと早められ、從つて建築工事がボツ〳〵始められるやうになつた關係上、京圖線方面からの木材出廻りが逐日增加しこゝ兩三日は毎日八十車ぐらひあり十四日の如きは九十車二千百四十一噸となつたくらひで更に激增を見越した新京鐵路局では貨物東扱所を開設すべく準備中である

森田一等兵奮戰
匪賊一味を爆殺

【吉林國通】敦化守備隊馬號分遣隊では十四日午後三時頃同地南方一キロの密林中に三人組の匪賊が潛伏せるを知りこれを包圍攻擊したるも頑强に抵抗して降らざるため森田政吉一等兵は右大腿部に貫通銃創を蒙りたるもひるまず手榴彈を提げて敵匪の據る獨立家屋に躍り込み、匪賊全部を爆死せしめた
尙森田一等兵は直ちに敦化衞戍病院に收容されたが相當の重態である

滿電新舊支配人來社

滿電新舊支配人山岡信夫、賀來之憲兩氏は十五日それ〴〵離京、新任挨拶の爲本社來訪

新鐵事務所長事務取扱　白井氏來京

新京鐵道事務所長事務取扱の乘務となつた奉天鐵道事務所長白井喜一氏は十五日午後五時三十分着あじあで來京十六日中山事務取扱から引繼をうけ十七日午前歸奉の予定

醫者や看護婦新京醫院から派遣
來る十七日に出發する

新京滿鐵醫院から北鐵に派遣される同院藥局高木藥劑師は十五日午前四時四十分出發したが更に十七日には同院内鹿子生醫員を始め看護婦十二名が出發するはずで、これらはいづれも三ケ月間出張の形式である

ブレンソーダ

昨十五日のこと、地方事務所の野村社會主事にあてて、名も知らない人から一通の手紙が配達されました、その中を開いて見るとそれは〳〵生々しい血判のあと差出人は靜岡縣沼田理髮組合第二部長の鈴木一男君といふ人

▽――▽

自分は富士の裾野の一閑村に住む理髮師だが既に開店して十二年間、今ごろ妻子七名を抱へて毎月の收入が十二三圓どうしても食つてゆけないから何處になりともぜひお世話を願ひたいと懇々就職依賴の意味を連ねてあつた

▽――▽

感激にかけては人一倍の野村さん、その文面を見てすつかりその熱意に動かされ目下八方に就職を奔走中

女人婆羅門

（舞台上演　映畫化）

長田秀雄

西正世志畫

（九十三）

片つぼみ（九）

長谷由貴造は、顔色を變へた聖庵の様子を見てとつて、

「いや、聖庵さん。御心配は御無用です。人の惡事を見出して縛るのが巡査の役目でも、貴方の、古い事まで發からといふ、そんな僕ではない。まア緩くりお話でも致しませう！」

聖庵はやつと少し安心した様子だつた。

お藤は、すかさず笑顔を作つて何やかと取りなしながら、

「さ、さ、どうぞ、御ゆつくり御話し下さいませ、――貴方、お酒でも差上げませうか」

長谷はそれを制して、

「いや、ほつといて下さい。職掌で人のもてなしを受けやうなど云ふさもしい考へは持つちよらん――」

と、改まつた様子で、

「時に聖庵さん、君がいま、特務巡査を奉職してゐるといふ僕の一言を聞いた時、俄に顔色が變りましたが、何か暇でもありますか？」

聖庵は、もう隠し終せることが出來なかつた。

「はい。それは長崎でも、御承知でございませうが……貴方は、大泉屋黒兵衛と云ふ長崎の混血兒の商人を御存知でございませう？」

「知ら、大泉屋黒兵衛、たしかに噂を知つてゐる。なかなか評判の悪玉ぢや」

「その大泉屋に唆のかされまして、容易ならん企てを致しましたので」

「それはどんなことです」

「はい、幕府のドン天返しのドサクサ紛れ、大泉屋がやつて參つて、此際二分金の贋造を致したら巨利を得るから、是非とも手傳つてもらひたいと、言葉巧に唆のかされまして、それまでに贋金のことは、蘭法の學問上から研究して居りましたので、到頭その氣になり、西坂の原つぱに出まして、夜な／＼その贋造を企てたのでございます」

「それはまた、善からぬことをやつたものだ」

「はい、贋造した總額は約八千兩ほどに上りましたが、不運の大泉屋にあざむかれ、手前のふところに這入つたのは僅百兩あまり、そのうちに贋造のことが世間に知れわたりまして、大泉屋黒兵衛も手前も、追手のかゝらぬうちにと逐天したのでございます」

「あの贋造事件は、誰知らぬものもない有名な事件だ。それぢや君はあれにかゝはんなすつたか」

聖庵は、頭を掻いた。

「どうもお恥しう存じます」

「いや、それも時の不運で仕方がない。政府が變つて、徳川に縁のある者は喰へなくなり、惡事をした者も少くないが、過まつて改むるに憚かること勿れだ。しかし、聖庵殿の家柄は、祖父に西山謙齋あり、叔父上に恒庵あり、著名な人ばかりだ。吉雄圭齋の門人として有名な蘭醫の御家柄を、あつたら踏潰してしまはれたのは殘念だが……噫、それも詮ないことでせう」

と、慨嘆して、

「それから何處へ逐天なされた」

「はい、私は、仕方がないから、馬關に出て、中國から山陽道を逃つて、京阪に入り、それから紀州に出まして、紀州から江戸行の船に乘込んで江戸へ出たのでございます。それから江戸の洋藥商に手傳つて居りましたが、何となく落着かず、思ひ切つて山中に入り坊主にでもならうと、甲州の方へ逃げ延びましたが、それでも怖くつて仕樣がないから、山から山へ逃入つて、到頭、山窩の群に入つてしまひましたよ」

「え、山窩？」

「由貴造さんの前だが、實は七年間、山中に潜んで居りました」

由貴造は、ちつと考へてゐたが

「君、それは本當か？」

長谷の聲は鋭かつた。